



丹波徳
永平
下巻
卷十五

京都府立総合資料館所蔵



持
992
31
15

○北村先生編 丹波誌 一部拾五卷
先生に請ひて二部を淨寫し
京都帝國大學圖書館と京都
府立圖書館に各一部を寄託
す

大正拾四年七月一日

北村龍象先生喜壽會

(北村先生喜壽會結末報告書を添附す)

京都府立総合資料館所蔵

京都府立総合資料館所蔵

水郡 (下巻)

大路村

大路村	大字	松森	廣瀬	上三井庄	中山	鹿
村位ハ本郡ノ東南隅ニアリテ多紀郡ニ接シ其ノ	三分ノ一天田郡ニ接ス鴨庄春日部ノ二村北方ニ	アリ國領村西面ニアリ戸八百八十人四千四百	十五 <small>明治四年</small> 有ス村名大路谷ヨリ出ヅ	産物 米麥茶繭ヲ主トシ陶器 竹細工 木細工ノ小	産物アリ木細工ハ檜杓ノ類ナリ	大字 松森村 元畧高二百三十二石 寛政改二
百二十三石九斗七升六合	文久慶二百十三石六	升九合	寛政度人家百戸	旗下士川勝近江守知	行	

水郡 水郡 水郡

道路 黒井ニ通シ多紀天田ニ郡ニ通ス 竹田川
 ノ源泉三派此ノ山中ヨリ奈ス
 大字 廣瀬村 元録高^合野瀬^ヲ二百六十石 寛政
 二百六十二石二斗六升四合八勺 民家六十 文
 久改高二百九十二石九斗六升一合七勺 川勝知
 行 小字和田具古高三十二石五斗三升二合後藏
 二二十九石一斗三升三合五勺 寛政年間民戸二
 百内穢太二戸 知行同人
 王子谷 即大路谷ハ村名ノ出ヅル所ニテ謂ハレ
 アリタル地ナリ而モ今ハ傳ハラズ小字和田具小
 部落松森廣瀬アリシナリ野瀬谷三百九十三石文
 久

瓜割池 小字上野ニ方五尺許ナル小池アリ清冽
 ナルヲ以テ手ヲ漬セバ少時ニシテ瓜ノ割ル、感
 想アルヲ以テ名ヅケタリ
 大路燒 日用陶器ヲ製出ス 古丹波ト稱スル珍
 器ハ此ノ所ノ舊寫ト云フ
 春日野 東西二里南北一里半
 水瀧 多紀郡界ヨリ下リ来リ圍領川七日市川具
 ノ他ノモノヲ合セ天田川ニ入り土師川トナル
 大字 上三井庄村 元録高三百二十三石 寛政
 改三百二十三石一斗八升 民家二百 文久改九
 百二十五石八斗二升一合五勺 四三百二十三石一
 斗八升 川勝主税知行 同五百五十八石九斗七

丹波志



升六合五夕 川勝新藏 同四十三石六斗六升五
 合 水野壹岐守知行 産物柄杓
 郡界 原ノ奥谷ノ野瀬谷奥ヲ以テ天田郡ヲ分ツ
 岩崎大明神 二十四間四方除地
 五社明神 上下三井ノ古氏神トシテ五社七堂アリタル古址
 南光寺 照仲寺 宗福寺 正福寺 降龍寺 摺
 取寺 圓通寺等アリ



岩井園

神

下三井庄アリ

井



上三井左
 山々右
 奥山田
 山岸アリ
 今井園

井

京都府立総合資料館所蔵

白髮堂彌勒堂四面堂阿彌陀堂等ノ遺址アリ
トガカ岩 原ニアリ五間許ノ岩窟ニシテ高サ一
丈奥行一間半アリ次第ニ低下シ内ニ地藏ノ像ヲ
安置ス又愛宕神ヲ祭ル 清泉窟底ヨリ溢レ出デ
三町許ヲ流レテ小瀑トナル
城址 細見長門守子彌四郎等ノ居所 又細見屋
敷アリ古井毎月一度水濁リ吉凶ヲ示ストテ人コ
トヲ畏レ近ブカズ觸ル、モノニ崇アリト云傳フ
細見ヲ氏トスルモノ多シ傳ニ云フ多紀郡本郷ノ
城主細見將監戦死シ其ノ幼兒母ニ抱カレ此ノ地
ニ道ル山伏ノ武藏コレヲ養育ス長シテ國料ノ城
主赤井萬五郎ニハ、寛文六年ニ死ス其ノ苗裔繁

京都府立総合資料館所蔵

殖シタルナリト

三ツ井 又三ツ井戸

岩井

シガイ谷ト云フ所
カシヤレトモ云フ 浅井 ハ幡ト云フ

今井 山戸ト云フ所
岩戸トモ云フ

井戸ニ付キ原由ハ知リ難シ地底ヨリ清泉ヲ汲ミ

揚ケル知識ナカリシ頃ハ何處モ天然水ヲ使用シ

タルヲナレバ此所ノ土人モ亦此ノ三所ノ清泉ニ

由リ飲食ニ資シタルナルベシ古ハ五色ノ水湧出

シ其ノ水量他水ニ比スレバ頗輕カリシトノ神秘

詠モアリタリトカヤ 岩井ハ下三井庄ニアリ三

角形ノ溜り水ニテ徑一間半浅クシテ水モ今ハ潔

カラス或井ハ上三井庄ニアリ柳一株アリテ杉籬

コレヲ圍ム岩井ノ三樹ノミアルニ比スレバ趣ア

リ今ハ灌溉用トナレルモノ、如シ今井モ亦上三

井庄山戸ノ谷ニアリ形容圖ニ示ス如ク前示ノモ

ノト大差無シ 往古兄弟三人住メリ孰レモ豪勇

ナリ又悪人アリテ住メリ多クノ悪人が土人ヲ困

ムルヲ以テ兄弟コレヲ燒布ニシ土地ヲ闢キ人民

ヲ救フ今ニ此所ノ祭式ヲ執行ス之ヲヤイト祭ト

呼ブヤイト祭ノ轉訛ト云フ 旱歳ニハ此ノ井ハ

粟ス今井ハ毎年七月七日渡碟シテ神酒ヲ奠ス

大字 中山村 古高二百三十八石ニ斗ニ升 寬

政度改三百九十六石三斗 文久三百九十三石ニ

斗三升一合 寬政度改民家百戸川勝近江守知行

王子嶺腰掛石 麻呂子親王征討ノ際誌ハセ玉ヒ

之跡トテ後人此ノ石ニ腰ヲ卸サズ 王子ヲ皇子
 トモ書キ後ニ大路トナリ今ヤ村名トナル
 鮫岩 三ツ尾山中ニアル鮫皮紋アル石 月輪石
 三間 四面ニ草生ゼストノ古話アリ
 相生ノ松 三ツ尾ノ城山北方降口ニアリ 毘沙
 門石 相生松ノ下ナル田間ニアリ大晦日ノ夜ニ
 ハ鷄聲ヲ發ス聞キ得タルモノニハ吉事アリトテ
 徹夜耳ヲ敬ラタレ氏聞クモノ曾無カリシトゾ
 三尾山 三峰品字ヲ成シテ尖ル其ノ高量亦相埒
 レ一見奇ヲ覺ヘ行人足ヲ留ム
 城址 三ツ尾ニアリ國料ノ東ニ位ス赤井刑部ノ
 守ル所 明智軍ニ攻陥セラレ 刑部奔リテ四圍

ニ避ケ艱難困苦ノ後年充テテ歸來ス村民コレヲ
 多紀郡坂井村弘誓寺ニ入ル遂ニ終焉ス
 八田明神 本社舞殿鳥井アリ二十間四方陰地ニ
 テ兩部ノ時ノ鐘堂アリ 本地虚空藏
 劔客伴藤龍太郎祐元 此ノ地ニ生レ個儻不羈農
 民ト伍スル能ハズ武藝ヲ研鑽シ奥丹波ノ劔客ヲ
 以テ自任シ幕府ノ檀横ニ奮慨シ身ヲ抽ンデ、勤
 王黨ニ入り長州人ト交ハリ但馬銀山ノ義舉團中
 ノ一人トシテ其ノ名ヲ喧傳セラレタリ事敗レ虜
 囚セラレ甲子七月京都六角獄内ニテ刑死ス辞世
 ニ云フ 事ありをいのゝ人乃常ふけやむるをぬ日女魂
 大字 鹿場村 古高二百五十六石三斗三升五合

丹波記

四十五三井庄ニ属スル分ハ此ノ外ナリ 寛政文
 久同ニ寛政改民家百戸 水野臺岐守知行 近來竹
 細工ヲ爲ス家百四十戸 田少シ食ヲ工ニ取ル
 大梵天社 本社 籠家 烏居 鐘堂アリ 鐘銘
 ニ今道寺ノ鑄字アリ十五段除地ナリシ日本三社
 ノ一ト云フ古時ハ大社ナリシトバ 稻荷社新宮
 社等皆除地アリ

春日部村 大字 多利村 多田村 小多利村

池尾村 野上野村 七日市村

和名抄ニ春日郷 訓 加須加倍 名ヲ春日神社ヨ
 リ采ル社ハ神池寺ニアリ往古ハ黒井アタリモ同
 郷ナリシナリ藻塩草ニ烟たフ赤部乃村ハ以みし
 へ乃あみハのこよけしきなるもトアルハ此
 所ノトト言フ併シ春部ハハルベニテ此所ナラガ
 ルベシトモ言フ竹下合戦ニ赤松貞範比類ナキ忠
 戦ナレバ建武二年播州并ニ丹波國ノ春日部ノ庄
 ラ下シ賜フトアリ左六百三十人二千九百十一
 明治三十年頃 産物采麥茶繭 山陰殖産株式會社
 拍原區裁判所出張所等アリ比較上平地多キヲ以

春日部村

丹波志

于地價十四萬九千七百五十七圓 民有地七百十
 六町四段アリ 竹田川貫流スル所農業ニ適ス
 大字 多利村コレヲ大多利ト呼ブハ小多利ニ對
 シテノ稱ナリ 本知村新知村ノ小字ニ個ヨリ成
 ル本地寛政高四百十八石九斗一升五合當時民家
 六十戸 新知六百十二石五斗八升五合民家百戸
 餘文久改高本知四百五十六石九斗二升六合新知
 六百二十二石二斗八升五合小字蓮華寺ハ蓮華寺
 ノ舊址小字湯屋谷寛政度民家六戸高三石六斗春
 日部庄七村寺領ト唱ヘ此ノ邊リ大抵神池寺領ナ
 リシ
 式内 阿陀岡神社 本知鎮座 兩部ニテ應當山

神力寺ト稱ス本社拜殿釣鐘堂佛體佛蓋等アリ東
 西四十間南北二十間ノ除地アリ社田亦同ジカリ
 キ應當ハ即チ阿陀ナリ
 大字 小多利村 大多利ノ分村ニシテ高百十石
 餘ト注セラレシヲ寛政度改二百九十五石五斗六
 升トナル又久度再改二百八十一石五斗九升六合
 八斗トナル由七十八石七斗七升五合八斗ハ旗下
 七川勝千之助知行二百二石八斗二升一合ハ同川
 勝新藏ノ知行寛政度五十五戸明治四十年六十六
 戸トナル産所ニ神職ト呼ブ家十戸アリ新平民ト
 呼ブ家十戸許アリ狛野五町四方アリ南村根村ニ
 接ス

京都府立総合資料館所蔵

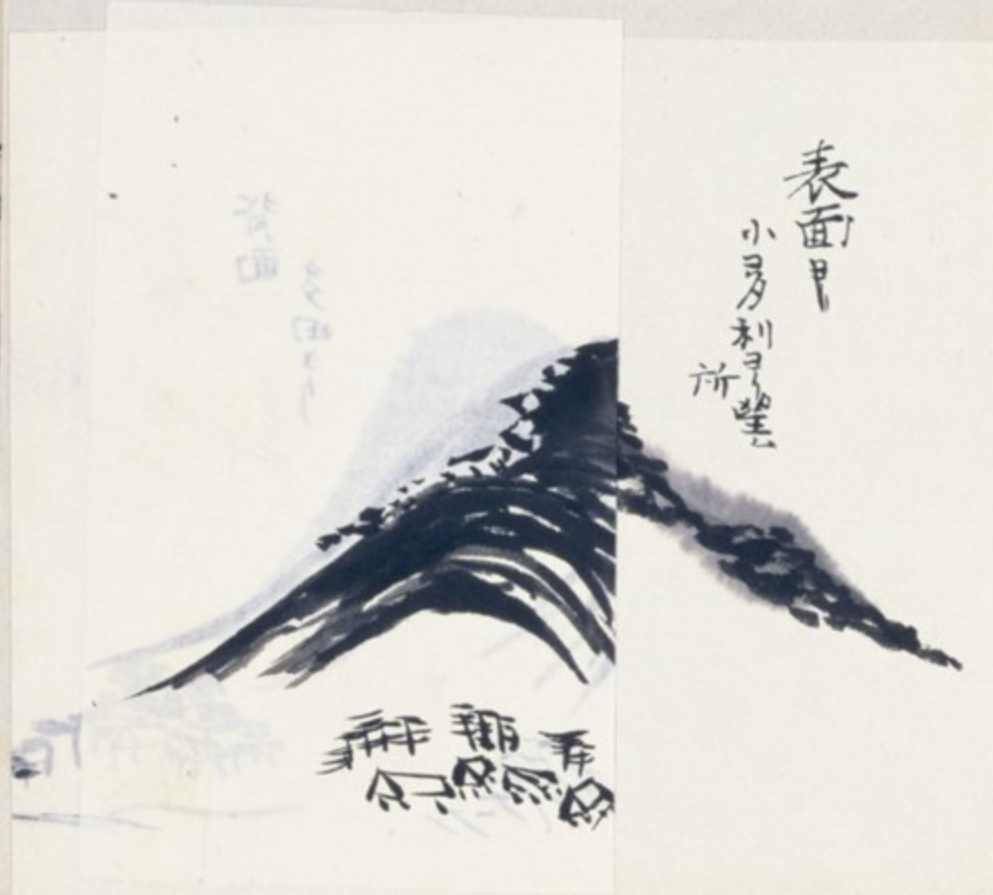
丹波小富士 栢野ニアリ 梶原野トモ書ク市京
ノ丹波富士ニ對シテ小富士ト云フ小多野ヨリ望
ム時ハ向テ右半腹少シ下ニ足高山アルモ可
笑シ

日ウ庭ニ入キ冬や夏の丹波富士 無号
小富士山神社アリ

仰キ赤リ喜田乃上ノ丹波富士 遠州大燕庵十湖
孝子 龜七 年七十三ニシテ寛政六年褒賞セラ

レタリ
大字 野上野村 高七百八石四斗九升五合寛政

改九百七十三石二斗氏家百九十戸 龜山領 文
久改九百六十二石八斗四升七合 小字塩ヶ谷ハ



表面
小房利望
所



孝子 亀七 年七十三ニシテ寛政六年褒賞セラ
 レタリ
 大字 野上野村 高七百八石四斗九升五合寛政
 改九百七十三石二斗民家百九十戸 亀山領 文
 久改九百六十二石八斗四升七合 小字塩ヶ谷ハ

京都府立総合資料館所蔵

岩塩ノ產地ナリシト云フ	往古ハ加茂郷ナリ
古城 吉積卯之助ノ居住セシモノ北方ノ山ニ其	
ノ址アリ天正年間赤井家ノ臣金村金右衛門ニ落	
去ス子孫アリ <small>(黒井村ノ部)</small>	
熊野権現社 天台宗ニテ相國山神應寺ト稱ヘタ	
リ 本社舞殿護摩堂釣鐘鳥居アリキ今ハ純粹ノ	
社トナレリ	
道得山福善寺 古寺ニシテ故迹四所アリ	
照月山桂谷寺 除地高一石六斗ナリシ	
大字 多田村 高六百二十三石寛政改七百五石	
當時民家百二十戸龜山鎮 文久年度七百三十七	
石八斗一分九合 此ノ村ニ古来狂者カ絶エ又升	

中
文
志

ハ明智方ニ内通シテ黒井ノ水ヲ切ラセテ故トカ

ヤ
薬師堂 山伏塚 いぼが森

大字 七日市村 元祿高百八十石五斗 寛政改

百八十八石 文久改二百三十九石七斗七升一合

此ノ邊一帯龜山領文ル織御ト呼バレシ所ナリ

天神山 天神社アリタレ氏今ハ他ニ合併セラレ

又

少富士ニツキ参考ニ供スベキ話ハ古人ガ己ガ

御邑ニツキ誇リトスベキモノヲ見出し之ヲ他

郷入ニ對スル話柄ニ供セントテ種々ノモノヲ

擇ミタルヲ少シトセズ中ニ就キ聊タリトモ富

士山ニ類似スルノ山嶽アレバ直ニ採リテ國名

郡名ナドヲ冠ラセテ稱ハ来リシトス日本全

國ニ涉リ之ヲ細査セバ或ハ數十百山アルベシ

之ヲ處富士ト稱ス丹波富士ノ如キハ小ノ小ナ

ルモノニテ其ノ大ナルモノ能ク似タルモノハ

陸奥富士ト呼ブ岩木山ノ如キ筑紫富士ト呼ブ

薩摩ノ開聞嶽及ビ筑前可也山ノ如キ都富士ト

呼ブ京都北方ノ比叡山有馬富士ノ角山伊豆富

士ノ賀茂郡大室山 八文富士ノ西山 近江富

士ノ三上山 彦部富士ノ岩鷲山 豊後富士ノ

由布嶽 録倉山富士ノ屏風山ノ傍山 播磨富

士ノメカウ山(ラカウ山ノ對) 讃岐富士ノ飯野山

丹波 志

富士	伯耆大山	羽後富士	鳥海山	周防富士	石槌山	同興居嶋山	伯耆富士	角盤山	山雲	郡	紀州富士	龍門山	阿波富士	高越山	山	丹後富士	由良嶽	富士馬嶽	加賀江沼	山	越後富士	妙高山	角原富士	越前文珠	高社山	諏訪富士	立科山	信濃富士	有明	ノ黒髪山	越富士	鷲巢山	高井富士	信濃	駒ヶ嶽	毛馬内富士	袴腰山	北富士	日光	富士ハ	膳振ノマツカリ	又富士山	渡島富士ノ	阿リ	榛名山ニモアリ	伊香保ニモアリ	鍛矛	伊豫富士	安藝富士	ナド是レナリ	敦賀ニモ
----	------	------	-----	------	-----	-------	------	-----	----	---	------	-----	------	-----	---	------	-----	------	------	---	------	-----	------	------	-----	------	-----	------	----	------	-----	-----	------	----	-----	-------	-----	-----	----	-----	---------	------	-------	----	---------	---------	----	------	------	--------	------

國領村 大字 國領村 東中村 袖津村

棚原村

村境ノ郡境ナル所東南ニ多紀郡アリ東方春日部
 村大路村ニ界シ西方柏原町ニ接ス北方ハ黒井ナ
 リ黒井ヨリ一里ヲ距ル此ノ間平地ニシテ馬車人
 車ヲ通ズ戸數六百人數三千六十二人明治四十年アリテ
 商賣ソノ半ニ居ル龜山藩領ニシテ黒井陣屋ニ沿
 メラル茶屋町上町中町下町北町出張銀行ニ所ア
 リ柏原ト氷上ノニ銀行ヨリス村名ハ田結アルベ
 キモ今ハ之ヲ徴スルニ由ナシ古書類中ニ穀料ト
 モアリ國司ノ領地トモ思ハレズ僻地ノ小都會ニ
 シテ近村ノ小需要ニ應セリ旅亭ナハ二戸アリ常

國領村

二南旅ヲ盈タセリ村ノ起原ヲ原ヌレバ小字長谷ノ安井某ナルモノ等来住シテヨリ人家アルヲ見タリト云フ三百年ニモヤナラント云フ此ノ地ノ高業ニ適シタルハ二谷各深奥ニ里モアル村人ノ賣買ニ来往スレバナリ得意トシタル能勢谷三井左谷モ商店出来テ昔ノ高況ヲ失ヘリ元村ノ長谷ヲ合セテ高九百石領主ヲ龜山藩トス寛政度改九百五十九石五千文久度改九百八十五石八斗六升ニ合寛政度改氏家百戸織郷二十戸年貢ハ米納銀納相半ス米納ト相場ハ檢見ニテ定マル龜山ヨリ役人来リタルヲ黒井ニ出張所出来テカラハ檢吏ノ行役納租ノ運送等其ノ勞ヲ省ケリ納租ノ運賃

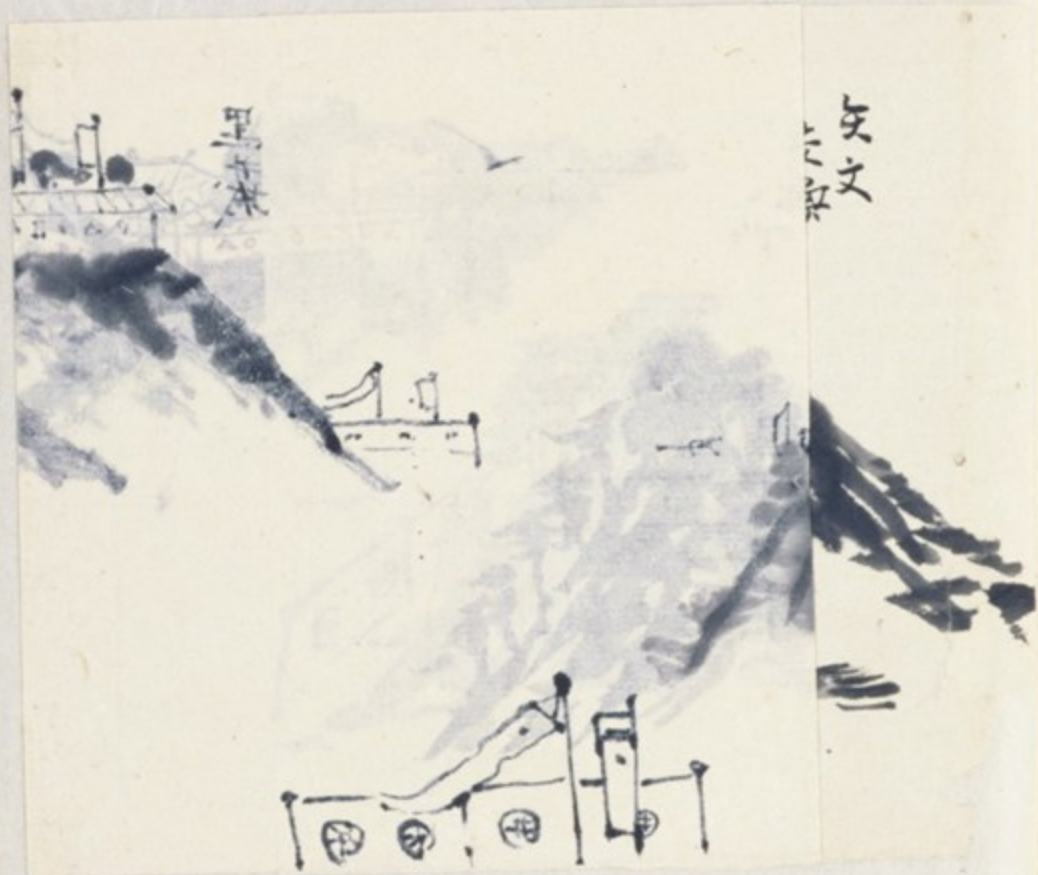
ハ領主ノ負擔ナレドモ氏莫モ赤嵩ミシナリ平均相場トシテ維新ノ頃ニハ米一石四圓三十九錢ナリ不作ノ年ニハ庄屋ヨリノ申立テニヨリ檢吏出テ来ルナリ産物米麥小豆繭近年ニ至リ滿俺モ出ツ各産ノ赤小豆ハ粒大ヒシテ美色美味ヲ共有ス山東ノ地ハ大概小豆ニ適スル中ニ就キ此ノ地ヲ最トス相場一斗三圓五十錢揃物ハ四圓四十五年南桑田郡馬路ノ小豆ハ當國ノ名産ニシテ當地ノモノハ倉ニ壓當テラレ馬路小豆ノ名獨盛シナリニモ馬路ハ近來産類減スル外ニ品位ノ下降スル等當地産ノモノニ一籌ヲ輸スルトナレリ且ノ色澤ノ變セザルヲ以テ久敷ク貯藏スルニ耐ルヤ

同ジ五粒ヲ堅ニ積ミ揚ゲラル、モ同ジ色澤大粒
ナルモ同ジ然ルニ其ノ形ノ慶ジテ長楕圓トナリ
五粒ハ扱置キニ粒サハ積産スベカラザルニ至ル
ヤ一ナリ孰レモ綿作ノ中ニ加ヘテ植エシカ綿六
貫目立テニテ十二兩ノ相場カ維新前後ニ維持セ
ラレタルモ漸次印度綿ニ堅當セラレ之ヲ作ルモ
勘定ニ合ハズトテ作ラヌトナリ隨テ綿中小
豆ノ作モ減ジ常相ニ繁植スルヨリ其ノ形ノ慶ジ
收穫モ亦減スルニ至レルナラント云フ當地ノ農
家ニシテ之ヲ植エザルモノ無シ然レバ之ヲ賣リ
出ス程ノ家ハ百戸ニ過ギ不シテ之ヲ需要スルノ
家ハ年一年増加シ供給ニ不足ヲ告ケルニ至レリ

右兩所ノ種ヲ以テ他村ニ移植スルニ原種ノ漸次
ニ衰弊スルヲ見ル地味ノ小豆ニ適スルナルベシ
竹田川系 大路村瀧ノ宮ヨリ流レ來リ村内ヲ貫
通シテ春日部村ニ入ル
國領峠一名瓶割峠ハ峻坂ナリシテ大阪ノ商人ガ
捐資シテ國領人コレヲ擔當シ新坂路ヲ作り人行
ヲ便ニシ牛馬小車ヲモ通セシムルニ至レリ此ノ
一線路ハ神戶大阪方面ヨリ福知山ニ到ル本郡ノ
第四級起點ニシテ春日部ヲ經テ上田ニ達シ第二
線路ニ入ル名ノ起リハ大阪商人ガ瓶ヲ荷テ通
行スルニ大ナルモノハ多ク割ル其ノ路狹クシテ
傍ニ岩石ノ聳ツヲ以テナリ一説ニ云フ神割ナリ

古昔此ノ所ニハ通行スベキ逕サヘナカリシヲ一
夜ノ間ニ開通シタリ人以此ヲ神力ニテ石ノ割レタ
ルトシ商ク名ツケタルナリト多紀郡大山村ノ部
ヲ参看セヨ西國巡禮ノ通行スル常道タリ
佐中峠 上下一里多紀郡小坂ニ趨クベシ此所ヲ
經過シ篠山ハ三里須知國部ハ達シ得
鏡峠 佐中ノ東ニアリ共ニ嶮ナリ
東長谷西長谷與長谷高九百石ナリシヲ寛政度ノ
改革ニ九百五十九石五斗トナリ文久年度ニハ九
百八十五石八斗六升ニ合トナル
前文國領部ニ記シタルト
在後又國領ノ元村ナリ以テ
長谷高トシテ安井白井山下三氏根方ニテ國領ヲ相シテ
市街ヲ作り具ノ地ノ繁榮ヲ謀リタルガ謀漸中リ

一時地方ノ需給地タリシナリ
岩戸大明神 西長谷ニ鎮座 本社鳥居拜殿鐘堂
アリ往古天照大神ヲ丹後ヨリ伊勢ハ遷奉スルノ
時ニ幣ヲ此ノ所ニ留メタル由緒アリ爾後大神ヲ
祀リ國領全村ノ産土神トス
長谷山瀧泉寺 國領ノ東取城趾ニアリ此ノ地ノ
高尾城主秋山修理大夫ノ菩提所タリ
赤井ノ碑アリ 赤井邸址アリ赤井萬五郎ナルモ
ノ、住地ト云フ國領ハカケラ長塚ヲ握リ幅ハ一
文許アリ其ノ高尾ハ谷ノ上ニアリ天正年間黒井
ト共ニ落去セリ田中ノ秋山塚ハ其ノ葬所ニシテ
子孫今尚アリ



大字 棚原村 古高五百三十一石六斗二升一合
 ハウ寛政改千二百六十四石トナリ非常ナル増加
 ニテ當時民家百六十戸ト註セラル文久年度減シ
 テ千百七十七石四斗六升トナル龜岡藩領ナリキ
 古城一名矢文詰取場ハ川端東ニアリ黒井城ト三
 ヲ尾砦トノ間ヲ通信スルニ矢ノ先ニ手紙ヲ縛リ
 附ケ互ニ射テ以テ味方同士ノ通信往復ヲ爲セシ
 ナリ當時織田軍ノ爲ニ四方梗塞シタルヲ以テ斯
 ヲ爲セシモノト云フ

ク
爲
セ
シ
モ
ノ
ト
云
フ



里
城

文
文
交
換
所

京都府立総合資料館所蔵

阿伽水 小池ナレ也早損セズ春日部明神ノ御供
 水トナセルヲ以テ此ノ箱アリ神併混濁ノ折ナレ
 バ此ノ名アリタルナリ今ハ養田水トナリ一夜ニ
 三十六石ヲ湧出ストハ古來ノ傳説ナリ四方四尺
 ノ小池ナリ不淨ノ女表リ汲ムバ忽チニ汚濁スト
 言ヒ傳ハタリ 阿伽天竺語ニテ水ト譯ス故ニ阿伽水ト云ハバ重語ナリ
 大字 柚津村 高二百五十一石三斗三合寛政改
 三百四十石當時民家八十戸文久年度改三百五十
 石三斗四升六合龜山藩領織戸十三附屬ス古時中
 山村ニ屬シタリシヲ柚津ノ名ヲ以テ中古獨立シ
 維新後團領ノ一部トナル
 古城 近藤丹後府ノ居住地ニシテ小字ヲ丹後林

阿伽水
 阿伽水
 阿伽水

ト呼ブ子部供養ノ石牌ヲ具ノ墓標トス
孝子近藤忠七 京都通ヒノ小間物商人忠七八頃
愚度シ難キ老母ニ事ヘテ奉養ヲ怠ラズ享保中母
九十歳ニシテ強健常ニ家人ニ及スルノ行爲ヲ敢
シ一家ノ風波ハ親族四隣ニ及ブ依テ親屬相談シ
之ヲシテ別居ニシム忠七一家ノ不和ヲ以テ自分
ノ責ニ歸シ母ニ訖ニ勸メテ佛道ニ入ラシメ妻ヲ
娶ルハ母ノ欲セザルヲ以テ別居ハシタレドモ獨
居シテ母ノ心ヲ安ヒセシム母一盲ス忠七痛ク
之ヲ嘆キ看護人ヲ雇ヒ入レ務メテ母ノ欲スル所
ニ從ハシメ母欲スル所アレバ價ノ高下ヲ問ハズ
之ヲ供ス母愈々老イ便通頻々々タルニ及ビ寢

床ヲ煖ノ寢易カラレム此ノ如キ丁七年ニシテ母
没ス寛永元年領主龜山藩侯之ヲ賞シ鳥目一貫文
ヲ賜與ス後公體ニ圓修ト號ス古城主近藤氏ノ裔
孫ト云フ
故老銭相場ノ話ニ曰ハク私等ノ若イ時ニハ金相
場銭相場札相場ガアルノデ少クトモ十色位ハ毎
日ノ變動ヲ知ラネバナリマセマ少シ高柴デモス
レハ猶更デス假令ハバ銭ヲ元トシテ申セバ園部
札ノ百匁一枚ハ百文ヨリ上ヘ行ク其ノ差ハ日ニ
ヨリ五文ノモアリ七又十又ノモアル是レモ
園部ハ持参シテノデ園部ハ近寄ルト夫レ文ツ
、相場ガ上向キトナルノデ當所デモ相場ガ宜シ

一宮津札ハ人氣が悪ク一及ガ錢八十又ニシカ通
 ラ又龜山ハ領主デアリ乍ラ桐場ガ善ク無ク札ガ
 多過ヤルト一及札ガ百ノ内ハ切レ込ム其ノ内龜
 山直札ハ宜シク黒井札ハ宜シク無ク黒井札ト言
 フ印ガ押サレタノデス

美和村 大字 勅使村 東勅使村 酒梨村

與戸村 乙河内村 白毫寺村 大坂村
 舊稱美和郷又三和莊ト云フ一帯ヲ三輪谷ト云ヒ
 七村ヲ連ネ呼バリ今ヤ再變シテ今名トナル古時
 鴨庄吉見ヲ三併ハセラ美和郷トシタリト云フ黒
 井船城幸世前山吉見春日部ノ諸村ノ包圍スル所
 トナリ比較上田野ヲ有シ産物ニ富ム康正二年造
 内引付ニ一貫五百文鴨社領丹波國三和庄公文職
 并加州關發設錢トアリテ内理造管鴨社納錢ノ一
 ナド有リシ一古文書ニ見ユ町村別施行前ニ數村
 ヲ併合シテ新村名ヲ命ケタルニ舊庄名ヲ襲フタ
 ルハ古ヲ思フヨリ出テタルナリトブ 主要産物

美和村

町 史 志

米 麥 菰

戸四百三十九 人二千七十三 民有地七百六町

三段 此ノ地價十萬四千九百四十一圓

大字 白毫寺村 小字寺内 由利 古高百六十

五石七斗二升九合四勺 文久改二百四十一石七

斗九升 寛政改 民家四十三戸 文久度同

五臺山白毫寺 天台宗 文武天皇慶雲四年法道

仙人開基 本尊藥師如來ハ天竺傳來仙人ガ齋ヲ

シタル所ニテ一寸八分ノ闊浮檀金佛ナリシヲ中

古一尺二寸ノ今ノ像ニ代ハタリト云フ 東西ニ

東條山ノ二岑アリ西南ニ五軸嶽アリ西方ニ陷虎

嶽アリ北方ニ天神山アリテ圍繞スルヲ唐土ノ五

臺山ニ彷彿タルニヨリ命名ス九十三院七堂ノ制

ナリシモ圓照寺止ノ坊北ノ坊中ノ坊奥藏坊尾崎

坊花木坊寶藏坊トナリテ細々ナガテ舊況ヲ存セ

シニ今ヤ廢殘ノ一字ノ三百六十石ノ御朱印モ空

紙トナリ了シヌ 舊藏トシテ曼陀羅 涅槃像ハ

傳教大師ノ筆 五大尊像五幅ハ慈覺大師カ天台

山ニテ手寫シタルモノ 黄金鈴ハ唐帝ヨリ慈覺

ハ賜ハリタルモノニシテ五個アリキ 古銅花瓶

亦同ジク賜品ナリ

門前ニ下馬札アリキ今ハ七ノ境内柘柏多ク池形

瓢ニ似テテ作り橋ヲ架ス橋ヲ掩フニ矮屋ヲ以テ

シ人歩レテ渡ル可ラス 額アリ堂前ニ掲ケ

白毫乃應有りみ花をかきく存法乃道引もいなる
 り危トアリ 年ヲ歴ラ衰セシテ中興シタルヲ
 慈覺トス北條時頼行脚ノ際ニ留錫ス遺物トシテ
 北ノ坊ニ墨蹟アリキ 本寺焼失ノ時本尊跳飛シ
 ラ五軸ヶ嶽ニ止マル遺迹トシテ飛石存ス寺ノ前
 面ニアリ
 五軸嶽 登路ニ條アリ 奥ノ堂ガ床ハ黒井城ノ
 水ノ手トシテ貯水池ナリ明智方コレヲ知り石樋
 ラ中途ニ断テ黒井落城ス 銀坑ノ址アリ
 邸址 寺内由利等ニアリ由緒詳ナラス
 大字 戸坂村 舊高百七十七石三斗四升四合 寛
 政改三百四十石 文久二百四十一石六斗五升二

合 寛政度改民家四十八戸 龜山藩領 砥石ヲ
 産ス
 大字 奥戸村 舊高五百四十四石八斗七合 寛
 政改二百四十戸 文久改五百九十七石四斗九合
 同領 寛政度改民家百十戸
 三輪明神社 美和村六ヶ村ノ総社ニシテ天台宗
 ノ僧之ヲ管掌シ白龍寺ト云ハリ神田ニ石除地
 岩船岩 村西ニ十町ニアリ 岩形ノ船ヲ成セル
 上ヲ水流ル具ノ源ヲ七本瀧トス七本ハ谷ノ名ナ
 リ
 供御カ瀬 勅使村ハ天使降臨ノ時ニ食膳ヲ奉レ
 ル所 供御トハ天皇ニ奉ルノ名ナリ

丹波 誌

大字 乙河内村 舊高二百九十九石二斗四升八合 寛政度二百九十三石四斗八升 文久改三百十四石五升五合 寛政改 氏家五十六石 龜山藩領

大字 敕使村 敕使又勅使ト書ク之ヲデント訓ムハ 敕使河原ヲデシカハラト訓ムニ同ジ此ノ村名ニ付種々ノ説アル中ニ三輪明神ヲ大和國三輪ヨリ奉迎スル際ニ勅使ノ降臨アルヲ幸榮トシ當時ハ 部落ニテ確トシタル名ナカリシニヨリ之ヲ奸機トシテ命名セシモノト云フ西ノ服ニ敕使屋敷アリ 敕使ノ旅館ナリ其ノ家ヲ杉山門太夫ト曰フ代々ノ通り名トナル勅使ノ命名ト云フ一説ニハ

酒頼童子退治ノ節ニ天使來臨シ頼光ニ應援セヨトノ諭旨ヲ齎セシモノトモ曰フ元禄高九百九十石 寛政改九百十九石四斗八升二合 内四百四十五石三斗一升九合 龜岡藩領 百十三石五斗三升九合 旗下士本陣 漆路守知行 四百四十七石一斗四升二合 月内藤藩 磨守知行

愛宕社 日光山ノ末寺ニテ神光寺ト稱ス 神供田寺域等除地 大字 酒梨村 古高二百九十九石四斗九升八合 寛政改三百石 文久三百石七斗一升五合 寛政改 氏家五十五石 龜山藩領 蚊尻塚 蚊尻ハ地名ニテ三塚アリ 蚊ヲ封ジ込メ

京都府立総合資料館所蔵

タル所ニテ致無村トモ呼ベリシヲ
 敷使未降後ツ
 ノ名罷メリト云フ塚上ニ金毘羅ノ厨子アリ十月
 二十日ニ祭ル二十日待ト云ヘリ今止ム
 古城 戸堀ニアリ萩野伊豫守ノ別邸ト云フ
 大字 東敷使村

神樂村

神樂村 大字 大名草村 稻土村 檜倉村 大禰
 村 小禰村 惣持村 文室村 戸五百七十
 八 人三千一百五十二 明治四十年 民有地一千二
 百三十二町 此ノ地價七千九百五十圓七錢 至
 要産物 米麥藷三極粟稻草材木々炭 町村制施
 行前小村合併ノ舉アリ七村ヲ結合シテ神樂村ヲ
 形成ス大名草ニ神樂谷アリ古來有名ノ地ナリト
 云フヨリ采レルナリ
 大字 大名草村 元録高二百七十一石 寛政改
 四百五十三石六斗文久度四百八十一石八升五合
 柏原鎮 寛政度民家百四十六戸
 三國嶽 播丹但三國境界線交叉ノ所ニ聳エルヲ

此ノ山トス登路五十町八百五十米突ノ高度トス
 山南ニ池ノ段ト呼フ所アリ池水コレニ混フ頂上
 ヲリ良位ニ山城ノ爰宕山ヲ望ムベシ南方ニハ楯
 山屏立シ西位ニ但嶺錯立シ北方ニ於テ丹後ノ峰
 尖アリテ若狹ノ柘尾山ヲ具ノ間ニ見ル 明星石
 サカナシ山ニアリ檜倉ニ接スル所トス 榮坂ノ
 岩ハ岩上ニ點燈シ遙ニ爰宕神ヲ祈ル所コレヲ鎮
 火祭トス 登路三町餘ニシテ鳥居ヲ見ル祠内ノ
 神體ハ甲冑ニテ白馬ニ跨ル其ノ像大サ七寸餘
 境内除地ナリキ大名草ヨリ三十町許 鴨脚木ノ
 段ニ銀杏樹アリ乳ヲ垂ル、ノ木トテ婦人詣フゾ
 常竈風呂ガ谷等ノ勝地アリ

鹿間天王社 社地壹二町幅一町餘除地ナリキ
 觀音堂 高一石四斗除地ナリシ 妙見山正覺寺
 淨土宗 境内山林除地ナリシ
 石光山常瀧寺 真言宗 法道仙人開基 本尊阿
 彌陀行基作不動佛同シ
 大字 稻土村 高三百四十二石 小物成小役三
 十八石七斗餘 改合二百七十石七斗三升四合
 能勢市次郎知行 産物 茶 桑 薯蕷 獨活
 梨 堅炭
 淨丸ノ社 淨ガ谷ニアリ 嶮石危岩山中ニ多ク
 御手洗瀑布深クヨリ流出シ岩孔ニ入ル孔口凡ニ
 尺四方汎流スレドモ埋盡セズ早魃ニハ村人必憂

八幡社 境内神田等除地ナリキ 此ノ社ハ足立
 修理太夫ノ邸内ニアリテ具ノ鎮守タリシナリ
 大和屋舗ト呼ブ所ハ足立大和守ノ所居ニテ同三
 太夫同主殿頭ノ址モアリ
 釋迦堂 釋迦薬師瑠勒ノ三佛ヲ安置ス共ニ法道
 仙人ノ作ト云フ 除地ナリキ
 通り堂 通り道ニアリテ諸人通行ノ所タルヲ以
 テ名ツケタリトカヤ 大本堂址除地ナリキ
 提子ガ水 岩間ヨリ噴出ス 池溜 四十四間四
 方ノ池ニシテ思ヒガ峰ヨリ来ル流派ナリ
 粟ヶ峰ハ思ヒガ峰ニテ登路一里十四町九百六十

ニ米突ノ高サヲ有ス 洪水ニテホラノ突アル
 兩度 上矢櫃中矢櫃下矢櫃ノ岩山アリ
 大ノ夕場 此ノ邊深林幽邃ナリシ頃猪多ク来リ
 テノ夕ヲ打ツ丹波三ノ夕場ノ一ト云フ時ヲ定メ
 テキツ獵人ノ利ヲ獲ル所
 大字 檜倉村 元高三十四石五斗文久度同 柏
 原領ナリシ 名産苜
 檜倉山 古時産銀ノ址アリ 烏帽子岩アリ
 王子大明神社 除地ナリキ
 寶谷山 佛光寺 同上
 高源寺 禪宗 正中年間後柏原天皇御開基 後
 鳥羽後水尾後圓融後奈良等ノ諸天皇宸翰アリ宋

徽宗皇帝鷹ノ繪 北殿司出山ノ輝迹 常信ノ
 文珠普賢アリ普應国師ノ浴衣ヲ藏ス
 紅葉ヲ以テ著ハル
 大字 大禊村 高二百七十石 寛政文久同 寛
 政改民家九十五戸 栗田高三十三石二斗八升年
 々本高ヨリ減稅ス 水野知行 産物 炭 杉原
 紙ノ類
 大禊小禊ノ名ハ比叡山ヨリ采レルモノカヤ
 十六社ノ熊野権現本地帝釋天垂跡天照太神春日
 明神トテ西部トシ熊野本社ノ例ニ沿ヒ六月十六
 日小麥餅ヲ供ス開基法道仙人
 神谷山再興寺 臨濟宗 本尊阿彌陀如来法道仙

人ノ作 慈心僧都再興 本尊ヲオヒ工佛ト稱ス
 大比叡佛ト云フ意トカヤ山号ノ神谷モ比叡山ノ
 地名ニ因ル
 大字 小禊村 元高二百十三石一斗五合 寛政
 改二百二石 水野能勢両家知行
 産物 細 小谷銀坑アリ今ハ廢坑 神池 東灘
 西灘善ノ地アリ
 天王山專福寺 淨土宗 境内田園除地アリキ
 足立又三郎法傳ノ位牌アリ
 城山ヲ法傳ノ山ト云ヒ森ヲ法傳ノ森ト云フ
 大字 惣持村 高百四十石小柳成山役三十石七
 斗 文久改百七十石四斗一升一合 寛政民家四

十八戸 永見伊豫守知行 文久ノ頃能勢市十郎
知行 産物 桑 茶 西種ノ産出多カラズト雖
往古ヨリ在リキト云フ

大箕山 高ナ七百二十二米突

大字 文室村 上垣内中垣内下垣内ノ小字合寛

政度民家六十戸高七十三石 文久度同高 水野

壹岐守知行 産物 桑

永光山雲林寺 本尊釋迦如来 安阿福ノ作

足立甚七ノ家ニ特産物アリト

上久下村 大字 河草村 上灘村 下灘村 篠場

村 青田村 畑内村 太田村 北太田村

四百五十戸 二千二百三人 明治四十年

地勢郡ノ最南ニアリテ東西多紀郡ニ界シ西面久
下村ニ北方栢原所ニ接シ而シテ南面播磨ニ向フ
多紀郡ニ隣ルノ地大抵山地ニシテ平地多カラズ
而モ米麥アリ生薑アリ苗木折アリ山利ニハ薪炭
アリ 鉄道多紀郡ヨリ来リテ過ギ栢原ニ通ル
大字 阿草村 小字廣田ヲ併セテ元録高百七十
八石 寛政改六斗四升四合増加 民家百戸 文
久改高百七十九石四斗九升七合九勺 栢原藩領
往時人民懶惰ノ風ニ感染シ産業ノ道廢タレ年ヲ

上久下村

逐ラテ納租ノ額減耗スルヲ以テ藩吏ノ督責ヲ受
 クル事一再ニシテ止マラズ終ニハ救助ヲ請願ス
 ルニ至リシガハ領主ヨリ代官ニ命ジ具ノ事由ヲ
 調査セシメタルニ全ク農民中ニ遊手徒食ノ弊風
 ラ生出シタルヲ知り他村ニ波及スルノ虞アリト
 シ吏負テ派シテ賞罰セシメ耕稼ノ業山林ノ營ミ
 ラ獎勵ニ三年ニシテ實效ヲ奏シ以テ舊態ニ復ス
 ルヲ得タリ
 銀鑛發掘ノ舉アリシモ具ノ效無クシテ止ミ藩ノ
 損失少カクザリキ
 水神橋 村北ニアリ水中ヨリ兩岸ニ架セラルハ
 下梯子ノ如シ石臼形ノ臺石ヨリ成り中部ハ水中

ニ陥リ岸頭ニテ露出シタリキ 篠山ヨリノ一流
 久下川トナリ村内ヲ流ル
 熊野權現社 山林八町四面ノ除地アリキ
 大歳大明神社 百六十歩ノ除地アリキ
 三會山說宗寺 臨濟宗 除地二百四十歩 不動
 堂 除地十二歩
 地藏堂ノ本尊ハ行基ノ作ト云フ
 大字 下瀧村 寛政高百三十八石五斗二合内百
 六十石餘青田村分別高ト呼ブ此ノ別高ハ旗下士
 諏訪文左衛門知行本高ハ代官小堀支配ナリキ文
 久高百八十七石七斗五升七合内百七十石九斗五
 升一合代官所十六石二斗六合水野 スターシヨシ有リ

水野
 志

地侍村山奥太夫ノ邸地ナルモノアリ 奇特者
庄屋彦右衛門八十歳 寛政八年褒賞セラル
普門山微妙寺 禪宗
大字 上流村 元禄寛政共高三百五十四石七斗
四升二合 諏訪安藤ニ家知行 民家百戸 文久
高三百六十石八斗五升一合 内十石九斗九升一合
諏訪龜五郎百四十三石七斗五升一合安藤軍次郎
二百六十石一斗九合安藤出雲守 皆旗下士
久下川村内ヲ流ル兒ヶ淵アリ岩石重疊スル所此
處ヨリ十數所ヲ洩ル大淵ノ字アリ村名ノ出ヅル
所トス 鮮ヶ淵十石岩等ノ勝アリ 鞍ヶ淵ニ由緒
アリ日ハク用明天皇行幸ノ時大川ノ水漲溢シ涉

ルヲ得ズ天皇コレヲ神明ニ禱請シ給フヤ忽然
巨蟒ノ形ヲ顯ハスヲ見ル須臾ニシテ此ノ岸ヨリ
彼岸ニ跨ガリ長橋ノ形ヲ造ル天皇便ナ百官ニ命
ジテ鹵簿ヲ進メシテ徒歩シテ渡リ玉ノ偶ノ馬
鞍ノ上流ヨリ漂ヒ来リ橋ニ至リテ止マル之ヲ見
リナハシ橋名トシ玉ヒタリトモ又ハ淵ノ名トシ
玉ヘリトモ云フ 若宮老夫婦舊址アリ以下参考
大字 太田村 元禄高三百十七石餘 寛政改三
百十七石九斗四升四合 民家百戸 栢原藩領
銅山ノ廢坑アリ
瑞鹿善神社 延喜三年白鹿一頭何處ヨリ来レル
ニヤ此ノ地ニ傍徨ス里人認メテ之ヲ捕獲シ珍ラ

エトテ之ヲ献ス頃クシテ鹿死ス其ノ死體ニ祭資
ヲ附シテ村人ニ賜フ村人一字ヲ造リ葬奠ス即コ
ノ社トカヤ文武天皇ノ御宇ニ丹波ヨリ白鹿ヲ献
ストノ文史ニ見ユ此ノ時ノトニヤ
愛宕社 本尊ハ一寸八分ノ金佛ニテ寶永年間火
災アリ横山ヨリ金佛太刀錫製ノ徳利ヲ振出セリ
ト云フ 御霊神社アリ六十六坪除地ナリキ
城址 茶臼山歴史無シ 東南山頂ニ太田大和守
邸地ト呼ブ所アリ
天満宮 口碑ニ據レバ用明天皇山陰御巡幸ノ際
ニ老夫婦カ住マヘル茅屋ニ駐蹕アラセラル老人
ハ何ガナ奉リ御旅情ヲ慰メ奉ラント思フモ心ニ

任セズ見ルガマ、庭ナル粟ノ實ヲ取り奉ル天皇
其ノ志ヲ愛テサセ玉ヒ老夫婦ノ前途ヲ祝カセ玉
フヲ若宮ノ辨ヲ賜ヒ后後ハ勝岡ト名乗ルベシト
宣ハセラル具ノ年ヨリ村人秋獲ノ際ニハ初穂ヲ
若宮ニ奉リ天皇ノ御徳ヲ記念シ遂ニ一祠ヲ建テ
又是ヨリ老夫婦ノ生計裕ニ長壽ヲモ得タリトカ
ヤ
萬松山惠日寺 臨濟宗 京都妙心寺末 開山細
川頼山休山規夫ト云フ頼之ノ事トカヤ
頼之ヨリ寄附千石十貫ノ寺領トシテ粟作郷ヲ附
シ檀越ノ證トシテ定紋ナル丸ニニツ引ヲ用エル
ヲ許ス、碁紋トシテ九曜葵ヲ用エ是レハ徳川家ノ

丹波志

由緒ニテ將軍數世ノ位牌ヲ列ス高十石柘山二十
 町歩ノ朱印ヲ附セラレタリキ塔中十六寺末寺十
 三ヲ有ス 本尊彌勒眼立文珠普賢 永和三年建
 設 山上高十數十町ノ所ニアリ唐木ノ門柱アリ
 シヲ見レバ其ノ規模ノ宏麗ナリシヲ知リ得 開
 山ノ時若狹ヨリ八百比丘尼來參シタル例ヲ以テ
 開山ノ法薦アル毎ニ胡麻三石ヲ同國ヨリ納ムル
 習儀アリ八百比丘尼ノ名ニテ當時コノ寺ニテ
 得度シタルモノ一説八百歳ヲ經タルモノ船井郡
 五箇莊村地藏堂ノ部ヲ參看スベシ
 什物 後醍醐天皇奉加帳 南朝諸名士連署ノ大
 般若經 唐画蓮磨 交趾花瓶沈南嶺ノ花鳥画卷

天正ノ兵燹ニ係レルモ此等ノ品ハ幸ニシテ免ル
 花鳥画卷ハヨリ以後ノモノトス 腰懸石山中ニ
 アリ開山ノ遺址 天狗山奥山ニアリ東西相對ス
 回石ナルモノアリ水神坪四尺許ノ圓孔岩端ニア
 ル奇景奇物ナリ
 大字 北太田村 畑井大川ノ小字ヲ併セ元録高
 三百五十六石 文久改畑井百貳拾八石一斗二升
 水野壹岐守知行 北太田内五十石七斗三升一合
 八月安藤軍次郎知行 内三十三石八斗二升一合ニ夕水
 野壹岐守知行
 大字 青田村 文久高百六十二石九斗九合 諏訪
 免次郎知行

坐禪石 山中ニアリ惠林寺開山僧ノ故址

久下村 大字 谷川村 大河村 南鳩村 池谷村

玉巻村 奥野村 北鳩村 岡本村 金谷村

山崎村 久辨久下莊

本村ハ東方上久下村ニ向ヒ北方新居村ヲ控、西方小川村ニ接シ而シテ南方播磨國ニ交ル戸數七百六十人口四千〇七十七ヲ數フ、四十年產物トシテ米麥材木ヲ主要トシ枹實味噌等ノ副產アリ
大字 谷川村 奥谷川ヲ合セテ元録高千〇二十七石寬政改千〇二十七石九斗八升五合三勺文久度千〇十四石四斗八升二合 織田衛守知行 織田家ヨリ陣屋ヲ置キ畝在地所々ノ治ヲ執リタリ
其ノ頃ヨリ羊農羊高ノモノ有リシガ今ハ戸數次

久下村

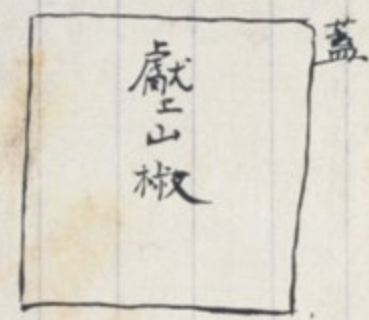
久下村志

第二増加シ四百ヲ數フ四十五年人家簷ヲ運上中
下町アリテ高賈ノ廊舎多シ錢道通シ停車場成リ
一層ノ盛況ヲ示ス
尋常高等小學校 郵便局 久下魚類合資會社
柏原銀行支店等アリ
道路ハ柏原ヨリスルモノヲ郡道ノ第五線トシ上
久下村ヨリ來ルモノ大小ニ路ヲ合ス此ノ所ニテ
又分レ南スルハ播磨ニ入り西スルハ小川村ニ出
テ宇井原ニテ第三線路ニ接續ス
物産 久下柳 木材 栗 鮎 米 米質佳良 串
柳 久敷ノ色澤ヲ保ツ 鮎大サ尺ニ及ブ 小魚ギンダ
鮎ノ如クニシテ美味アリ

庄屋大明神 福福高倉大明神ハ久下谷十三箇村
民ノ産土神トシテ奉崇セラレタル所ニテ天名宗
ノ僧コレヲ管治シ弘治元年金谷村ノ領主森丹後
守ノ創建ニ係ル除地三畝アリ神田トシテ一
町一畝代々地頭ノ寄附地アリ西部ナリシモ今ハ
純神ニシテ本社拜殿鳥居神門アリ門ニ檢非違使
ヲ具ス孰レモ丹後守ノ所造ト云フ
竹林山常勝寺 天名宗 開基法道仙人 本尊十
一面十手觀音 赤銅高一尺七寸許 仙人來朝ノ
時齋シタル天空裂ノモノト云フ 除地二段 塔
中七院 仁王門ナドアリテ古人ノ大刹ナリキ
大石經塔アリ 寺山ノ高サ四百六十二米突 境

内 熊野神社ニ古代ノ狛狗ヲ置ケリ
 二尊山妙楽寺 淨土宗 除地ナリキ
 軒迹 高瀬某ノ城屋敷ト云フ吉之丞ト呼バル老
 狐其ノ主人ナリシトモ云フ其ノ別墅ノアル地ヲ
 カマヘト呼ブ三所許巽ノ方
 机坂 播磨哉ノ羊腸坂ヲ机坂トス往古聖德太子
 此ノ所ヲ經過シタル時始終同行スル所ノ多門天
 忽然ソノ影ヲ失フ太子乃チ此ノ坂ヲ以テ机ニ擬
 シ供物ヲ奉リ以テ祭ル踏ミテ見給ハバ井原ノ峰
 屋山頭ニ光尖アリ尋ネ行キ其所ニテ又多門天ニ
 遇ヒ再コト同行シ玉ヘリトカヤ
 大字 池ノ谷村 寛政高百五十四石一斗九升五

合 民家二十戸 文久度百六十五石六斗九升二
 合三ツ 柏原藩領
 城山 北山ニアリ池ノ谷主計居住ノ地ト云フ
 朝倉山椒及ヒ山椒五郎兵衛ニ付キ左ニ一話ヲ載
 ス



自殺シテ以テ領主
 ノ罪ニ任ズ士氣アル
 天ノト言ハレシ祖先
 ノ志氣ヲ継グ言
 フベシ

徳川幕府、諸大名ヨリノ獻上物アリ物品ハ其ノ
 領地々々所産ノ物ニシテ貴重スベキ程ノモノト
 ラハ之レ無キモ太平ノ粒飭品トナリ頗ル煩勞ノ
 トトハナレリ當領主ナル柏原藩モ亦其ノ數中ニ
 漏レズシテ之レガ爲ニ一人ノ生命ヲ失フトトマ
 テニナレリ朝倉山椒ハ丹波ノ名産ニシテ普通ノ
 山椒ニ異ニシテ枝上ニ朶アリ朶上ニ實ヲ結ブ其
 ノ形紫陽花ノ如クニ朶生シ其ノ先尖ノ所ハ開カ
 ズ其ノ赤色トナルニ至リテハ開クヲ以テ青色ノ
 時ニ之ヲ採ル之ヲ前示圖面ノ如クニスレバ美ナ
 ルト花ノ如シ之ヲ箱ニ入レテ産ネ二重ノ箱ニシ
 テ江戸ニ送ルナリ山椒ノ莖ヲ束ネ之ヲ絹紅ナル

山椒
 志

山椒
 志

モノニテ卷ク是ニハ又頗手數熟練ヲ要ス久下五
郎兵衛ノ家人ハ二百年來經營シ來レルモノカラ
之ヲ製スルニ巧ニシテ未嘗ラ一度モ失敗シタル
丁アラズ先祖五郎兵衛ニ巧者アリ何事ノ設計ニ
モ巧ナルヲ以テ且ハ名家ノ裔ナルヲ以テ此ノ大
切ナル丁ヲ受負ハセ待スルニ士禮ヲ以テ拾三
石ニ人扶持ヲ給セリ十三石ハ家祿ニシテ扶持米
ハ即チ山椒ノ手間賃ナリ此ノ家ノ相續者ハ世々
五郎兵衛ヲ名乗リ世間ニ山椒五郎兵衛ト呼バレ
山椒ヲ以テ苗字ノ如クニシテ山椒ヤン山椒氏ナ
ト、呼ババ之レニ應ズルナド啖フベキ丁屢々ナ
リキ一年山椒不作ノ丁アリ蟲害ニデモ罹カリシ

モノ半此ノ名産地ナル所ニモ満足ナルモノ一朶
カニ無シ隣邑ニ求メ隣郡ニ索ムルモ亦無ニ壓制
ノ時トテ之ヲ断ルノ道モ無シ二百年來ノ習禮ヲ
廢絶スルノ方モ無シ千思萬考ノ結果嘗テ聞キ及
ズル九州地方ニ同種ノモノアルヲ思ヒ之ヲ採ラ
ントレテ發足シ路ヲ大坂ニ執ラントシテ川代ニ
出テ溪上ニ坐シ腹ヲ割キ自盡シ死體流レテ下流
ノ堰ニ掛カル日ヲ経テ村人ノ認ムル所トナリ之
ヲ頭主ニ訴ハ檢視ヲ受ケ墓所ニ葬ル是レニ由リ
頭主ハ幕府ニ其ノ年ノ献上ヲ罷メ得タリ是レ蓋
シ五郎兵衛カ頭主ノ累ヲ自任シタルナリ當路者
カ自任シタル丁ノ不可能ナルト見レバ自殺シテ

山椒
志

責ラ免ル例アトバナリ領主ハ此ノ顛末ヲ老中ニ
届ケタレバ事ノ諾着ヲ見ルヲ得タルナリ其ノ九
州ニ赴カントレテ家ヲ出テ其ノ近所ニテ自殺シ
タルハ何ノ故ナルヲ詳ニセズ九州ニ到ルモ勞シ
テ效ナキヲ豫想セシモノ乎是ノ下ヲ見聞シタル
モノハ流石士分丈ノ下アリ山椒サシ丈ノ下アリ
トテ譽々又モノハ無カリシトゾ爾後柏原ニ居住
セル五郎兵衛ノ實録ガ献上ノ下ニ付詳悉スルヲ
以テ其ノ翌年ヨリ數年間コレヲ續行シタルガ諸
大名ノ江戸ヲ退居シ在國スル下トナリ天下多事
ナルニ際レ其ノ事モ止ミタリ著者ガ此ノ話ヲ探
聞セシトテ其ノ家ヲ訪ヘバ谷川停車場ニ宿屋業

ヲ爲シ斗タリ幸ニモ五郎兵衛ノ末亡人ト其ノ息
子ノアルヲ以テ右ノ一節ヲ聞クヲ得タリ
大字 玉卷村 元録高百二十六石 寛政度改檢
百二十九石九升五合 文久百二十六石一斗 當
時民家五十戸 諏訪文石衛門知行 玉卷栗長ク
貯ヘテ色味ヲ失ハズ其ノ黄白色ノモノ佳品タリ
主基名所ノ一ニ居ル正一位賀茂大明神 社地一
町四方免稅地 久下駿河守ノ邸址アリキ
護國山長慶寺 境内除地ナリレ比丘ノ名長慶ヲ
以テ寺号トス厄ハ久下氏ノ女ニテ了光坊ト稱セ
リ其ノ古墳アリ之ヲ祭ル爲ニ立テタル寺ト云フ
厄塚一名鈍子塚又ハ幡トモ呼ブ旱魃ノ時ニ村人

ノ零スル場トス岩林ト芽林トヲ合ヒ三墳トス長
 廿八町横五町ノ原野ニアリ奥野ト呼ブ
 大字 岡本村 元録高百五十石六斗九合 寛政
 百五十石一斗九合 民家五十戸 松野家知行
 大字 北嶋村 同百五十石一斗七合 文久百五十
 石四斗七升 寛政 民家三十戸 相原藩領 久下
 次郎ナルモノ、伴ヒ来レル農民五名ナリシガ數
 十年ニシテ六倍シタルナリ
 大字 山崎村 同高百九十三石 寛政百六十石
 三斗 當時六戸 人ハ玉卷ニ屬シ地ハ相原藩ニ
 籍ス横渡シアリ舟子ハ當村ヨリ出デ舟ハ金谷ヨ
 リ作ル一奇法ナリ

岡本村ニラ九十四石六斗六升 同一石新田 合九十
 五石六斗六升 引方三石三斗一升三合九勺 淺
 高九十二石三斗四升六合一勺 三十石餘本郷分
 六十石餘嶋分織多
 大字 金谷村 一ニ金屋ニ作ル 寛政度高百九
 十三石六斗四升五合七勺 民家六十アリテ相原藩
 領ナリシ 産物 烟草 文久二百六十石四斗一升四合
 金山故址アリ字ヲ金穿ト云フ 鑛物アリレナリシ
 不動瀑布アリ
 三輪城址 足利義詮ノ所居ト云フ
 正一位加茂大明神 社地五畝十八歩 大歳大明
 神社地十二歩 阿彌陀堂ニ畝二歩 陸地ナリ

岡本
 史記

キ
久下 彌三 即時重ノ邸地 登四十間横二十間 除
地ナリキ 古井アリ 毎日兩度濁ルト云フ 裏木
戸 西木戸等ノ宇残レリ 竹木ヲ伐採スルモノ
ニハ崇ルトテ村人之ヲ恐ル 彌三郎ノ名ヲ犯シ
名乗ルモノアレハ崇ルトテ之ヲ避ケ併セテ彌ノ
宇ダケサヘ避ケタリキ地主六兵衛ナルモノ此ノ
由ヲ領主ニ申シ立テシカバ檢地役人ヨリ一段五
畝二十歩ノ免税ヲ申渡シ其ノ地ニ八幡社アルヲ
以テ改メテ社領トス其ノ實ハ八幡ナラデ時重ヲ
祭レルモノニテ六兵衛之ヲ支配シ子孫連續シ来
レリ 西土居ト云フ所ナリ

遠見ノ址ハ丘山ニアリ 榎ノ丸ハ家老南部五郎

兵衛ノ籠レリシ所

七郎塚 竹田七郎ト云フ落武者ノ通行セルヲ認
メ相打ちシテ射止メタル所ニテ後世ノ謡引歌ニ
之ヲ唱ヘ哀レヲ留メ又其歌ニ云フ以トしや竹田
乃七郎殿ノ死骸ハ屋谷乃梅の花
久下谷ハ東西三里ニ垂ントスル十三村落ノ総稱
ニシテ古稱ハ栗作御ナルヲ久下次郎ノ来ニテヨ
リ今ノ名トナレリシナリ 維新後數更章ヲ経テ町
村制施行ニ際シニ大村トナリ久下村上久下村ト
呼ブ
久下氏ハ足利將軍家ト相關連ニテ歴史ニ記上セ

久下氏ハ足利將軍家ト相關連ニテ歴史ニ記上セ

一レタリ太平記諸國朝敵蜂起ノ事ト云ヘル條ニ
 云ハク又翌日ノ午ノ刻ニ丹波國ヨリ碓井丹波守
 盛景早馬ヲ立テ、申シケルハ去ル十二月十九日
 ノ夜當國ノ住人久下彌三郎時重ト波々伯部次郎
 左衛門尉中澤三郎入道ヲ相語ラヒ守護ノ館ハ押
 寄スル間防ヤ戰フト雖モ却戰不慮ニ起ルニ依リ
 テ御方戰ニ敗レ遂ニ換津ハ引退ク雖然猶他ノカ
 ラ……其ノ耻ヲ雪メシ爲ニ使者ヲ赤松入道
 ニ通ジテ合力ヲ請クル處ニ圓心野心挾ムニヨリ
 返答ニモ及バズ刺ハ將軍ノ御教書ヲ……國
 中ノ勢ヲ熾ス風聞人口ニアリ……加之丹
 波但馬ノ朝敵等備中ノ勢ヲ待テ同時ニ山陰山陽

ノ西道ヨリ攻上ル由承リ及ビ候御用心アルベシ
 ト告ケタリケル
 足利高氏前名ノ旗揚ノ時久下時重一番ニ馳参リ
 タルハ南粟田郡篠村ノ部ニ出ス一番ノ字ヲ
 以テ家紋トシ旗章ニハ凡ニ番ノ字ヲ畫ス漆板ナ
 リ子孫藤原氏ノ旗下ニ屬シ矢張り凡ニ番ノ字ヲ
 用ユ凡ヲ以テ一ノ字ヲ表シタルナリト當村ニモ
 此ノ紋ヲ用ル家アリ明德ノ役ニ丹波勢ノ中ニ久
 下長澤ノ者共三十騎降参シ管領ノ手ニ屬ス云々

一番



久下氏ハ素ト武藏國ノ士ニシテ食邑ヲ此ノ地ニ受
ケ表住シ州ノ著姓トナル久下越前守童氏國主波
多野秀治ニ事ハ江田大館赤井荒木ト共ニ其ノ旗
頭トナル丹波ノ鬼ト呼バレ東軍ヲシテ畏レシノ
タリ天正年中東軍ト戰フ事數十百回同七年明智
光秀来リ通ル下波多野宗貞氷上城ヲ退去シ此ノ
城ニ入ル童氏逃ハ入レカラ戮ハセテ防禦スニ將
域中ノ精兵ヲ檢選シ出テ、羽柴秀長ノ大軍ニ當
リ縦横奮撃シ兵傷ツキ刀折レ餘ス所三百人乃入
リ相向テテ城中ニ自盡ス
時童ノ邸址アリタレド田畝トナル古神社アリタ
レド他ニ合併セラル

村産物トシテ寒天製造ニ着手スル者ヲ出タス

町
城
志

蘆田村

蘆田村 大字 口塩久村 田井繩村 東蘆田村

西蘆田村 栗佐野村

本村ハ本郡ノ北位ニアリテ東ハ山脈ヲ間テ、前山村ニ隣リ西ハ佐治村ニ接シ南方ハ幸世葛野ノ二村ニ續キ北方ハ天田郡ニ疆ス亦山西ノ一村ヲリ戸數五百八十三 四十年人口三千〇五十四ヲ含ミ民有地一千三百十六町一畝此ノ地價十二萬九千四百八十四圓主要物産ヲ米麦繭絲茶トス 福知山ヨリ九三里 穴ノ裏峠ヲ越エ 椴原正明寺 筈尾天田ヲ經過ス

大字 口塩久村 貞享年度高二百七十三石九斗六分 元祿同 文久度改二百七十四石三斗三合

幕府直轄地ナリシヲ柏原藩ニ移ス寛政度改民家
 五十戸 織多十六戸
 春日社 若宮八幡社 共ニ除地ナリキ
 縫岩 城が巖ノ麓ニアリ白絲モテ縫ヘルガ如キ
 紋アリ 鏡岩 夫婦岩 唐戸岩 寺ノ奇岩アリ
 猿岩谷ノ陣沓形岩ハ人足ヲ印スルモノ一雙アリ
 赤熊岩ハ矢ノ内ニアリ
 小字 小和田村矢内村ヲ合セ高九百四十石五斗
 九升ニ合ナリキ小和田ノミニテ文久高四百七十
 五石ニ斗九升四合ト注セリ 民家六十戸繩手織
 村三十戸 柏原藩領
 九艘地九艘橋等ノ舊キ面影ヲ存ス是レゾ往古儲

水ノ迹ナルヲトスベシ東山手ニアリ
 城山 足立左衛門遠信ノ所居
 太神宮社 除地ナリキ 八幡社 同 本尊石佛往
 古土中ヨリ發掘セシモノヲ八幡大神トセシニ
 高臺 毎年七月廿四日ノ晚景ニ點火スル所トス
 村人舉ヲテ薪柴ヲ供給ス 是亦除地ナリキ
 石佛山大通寺 黄蘗宗 本尊觀音ハ古城主足立
 氏遺物 谷中ニ石佛多ク在ルヲ以テ山号トス
 除地アリ檀家ナシ 東光山淨土寺真言律 足立
 右近ノ鬼門守護寺 本尊藥師 行基井 淨土寺
 ニアリ行基菩薩ガ聖武天皇ノ敕ヲ奉シ六十餘州
 ニ靈地ヲ選ニ藥師ノ像ヲ安置シタル時ニ此ノ井

支 志

ヲ穿テ供水トシタルナリ寺内五町歩ノ除地アリ
 シ毘沙門 行基作 本尊同作 十一面觀音 聖
 德太子ノ作 辨財天女 傳教ノ作トカヤ 鬼門
 守護神一名釋摩大神 後山ノ大岩ト共ニ足立氏
 ノ城鎮トナルモノトカヤ
 大祐山光明寺 真言宗 寺内除地ナリキ 安龍
 山養徳寺 曹洞宗 寺内除地ナリキ 本尊千手
 觀音 恵心ノ作トカヤ
 大字 田井繩村 元祿高三百九十三石一斗一升
 寛政度同氏家六十戸 文久高四百五石四斗六升
 五合 小字高原ニ穢多六戸 産物米麦粟茶 柏
 原藩領

今ヨリ百年前ニアリ一村譽ツテ年々ノ貢租ヲ完
 納スルモノ無ク年々逕テ未進ノ増加スルヲ以
 テ代官ハ秋季ノ檢見ヲ爲スニ隣村ニ比スレバ作
 柄ノ大ニ劣ル所以ヲ見又ソノ生計ノ困難ニ陥ル
 所以ヲ見テ村民ガ何日ト無ク遊惰ノ風ニ染ミ賭
 博ニ從事シ婦女子ニ至ル迄朝寐賈喰ナドヲ樂ミ
 職業ニ從事スルモノヲ嘲リ餘斯アル家ハ押借リ
 ニ出掛ケ理不盡ナル所業ヲ爲シ以テ飲食ノ費ニ
 充ツル者亡村ノ北候全ク具ルニ由リ具ノ状情ヲ
 具申シテ家老ニ處分ヲ乞ヒタルニ非常手段ヲ以
 テ興復ノ策ヲ議セラレヌ 家老ノ代理ハ代官手
 代足輕同心等ノ役々ヲ引卒シ出張所ヲ設ケ村役

支 志

人ヲ譴責シ之ヲ黜陟シ名主長百姓ヲ呼出シテ懇々
々説諭シ改革方途ヲ得心セシメ之ヲシテ百姓怒
體ニ開カセ翌日ヨリ太鼓相圖ニ起臥飲食休憩ス
ルトト定メ第一ノ鼓聲ニテ村民一同起床シ朝食
シ第二ノ鼓聲ニテ就業シ第三ニ休憩シ第四ニテ
午食ヲ爲ス等午後モ亦同様ニシ其ノ年ノ五月柳
苗ヨリ第三回ノ除草ニ至ル迄一日モ之ヲ忽ニセ
ズ夜中ニハ同心ヲシテ巡回監視セシメ博徒ハ之
ヲ他領支配地知行所等ニ放還セシメ八月ノ農收
ニハ藁仕事ヲ命ジ堤防道路ノ修繕ヲ爲サシメテ
給米ヲ取ラシメ最貧ノ者ニハ日々食料ヲ與ヘ婦
女子ヲシテ漫ニ出行セシメズ各自夫レノ業ヲ

助ケシメ能クセザル者ハ家ニ在リテ織造ニ従事
セシムル等干涉到ラザル無クシテ殆ント一年ヲ
経過シタル結果村風民俗大ニ革マルニ至レリ
孝子請右衛門 寛政三年褒賞セラル時ニ年五十
五
朝日山観音寺 本尊観世音像ハ安阿彌ノ作ニテ
信濃國ヨリ飛來レルモノト傳フ松藤柳ノ三品モ
共ニ隨ヒ來リシニ松ハ枯レニ岳ハ存ス柳實ハ大
小七種ニ實ノルトカヤ
大字 東蘆田村 古高九百六十八石六斗四升七
合四勺 文久改九百七十五石九斗八升四合四勺
柏原藩領

少將社 古領主蘆田少將ヲ祭ル社頭ノ鰐口ニ四
 位少將ノ文字ヲ鑄ル
 腹切石 少將ノ敵軍ニ攻メラレ逃レテ洞穴中ニ
 入り搜索ヲ免レシトレテ得ズ石上ニ坐シテ屠腹
 ス 米留屋敷大畑屋敷ナドアレド歴史無シ
 孝子 善七 寛政三年褒賞セラレ五十五歳 丹
 波ノ孝子ト言ハバ指ヲ天田郡ノ蘆田爲助ニ屈ス
 此ノ蘆田ニモ又孝子アリ一ハ家名ニシテ一ハ村
 名ナリ共ニ蘆田ノ孝行人ト言フ奇ニシテ祥 天田
 郡土師村参照
 式内高座神社 高座山松音寺ト稱ハタル兩部ノ
 宮寺ナリキ 一ノ社ハ鹿嶋明神 二ノ社ハ香取

明神 三ノ社ハ仲哀天皇 四ノ社ハ春日明神
 五ノ社ハ天照太神 除地四町四方 俗ニ蠶ノ社
 ト呼ブ
 金朝神社 蘆田金朝ヲ祀ル
 蘆田ハ丹波ノ舊家トシ信濃源氏米持三郎家光ヲ
 蘆田判官代ト稱ス丹波ニ移リ其ノ子道家丹波半
 國ノ押領使タリ押領使ハ警務ヲ掌リ軍事ニモ關
 係スルヲ以テ權威アリ具ノ孫ハ郎朝家兼久ノ乱
 ニ官方トナリ乱成クノ後北條氏ノ爲ニ所領没收
 ノ刑ニ處セラレ甥又五郎兼住野ニ居住シ房氏家
 ハ多紀郡黒岡ニ移居ス所シテ朝家ノ子爲家ハ赤
 井ニ移リ赤井家ノ祖トナリ後世基家ニ至リ足利

氏ニ属シ再ソノ家ヲ大ニス天正中赤井左衛門ナ
ルモノアリ蘆田五郎左衛門ナルモノアリ三十六
人ノ地侍ト共ニ明智軍ニ抗シテ亡ボサル五郎左
衛門ハ弟ノ小平ト共ニ遁逃セリ

群書類聚載スル所

瑞雲寺ニ蘆田氏ノ墳墓アリ

丹波大名

栗住野ニ蘆田氏ノ故城アリ 峯山ニモアリ

蘆田ノ紋



昭藏寺ニ信濃ヨリ移セル石アリ

吼子尾山昭藏寺 天台宗 叡山末 法道仙人ノ
開基 本尊藥師如來 日光月光十二神ヲ配ス
惣門中門本堂鐘樓客殿等具ル寺内除地ナリシ
本尊ノ由來太々尊シ傳ハ言フ往昔此ノ地中ヨリ
出現ス之ヲ掘リ出スヤ其ノ形太々小ナルヲ以テ

親佛ヲ作りテ其ノ胎内ニ藏ム寺跡ノ因リ起ル所
以ナリ別所長沼ノ裔ナル別所豊後守ヨリ三十石
ヲ寄附シ其ノ狀ヲ存ス柏原藩ヨリモ年々三石ヲ
給シ修繕料トス徳川氏數代ノ任牌ヲ安レズ庭
中ニ舩石手水石方便水アリ此ノ清泉ハ法道仙人
ガ初メテ登山スル時試ニ之ヲ口中ニ含ミ其ノ靈
泉ナルヲ知り善ク之ヲ疾病アル者ニ服用セシメ
タルニ効驗アリレモノニテ後人モ之ヲ習用スル
トトナレリ
摺石ト呼ブアリ立石ニシテ奇形ナリ信濃ヨリ移
セルモノト云フ 業平ノ腰懸石アリ
磬 菊ノ紋風凰形アリ延享巳年洪水山崩アリタ

志

ル時コノ石出ヅ

大字 西蘆田村 古高五百五十七石四斗八升五

合 寛政同 民家百五十戸 文久改高二百四十

四石九斗三合四勺 柏原藩領 井ノ官事神社

アリ式内蘆井神社カ 井ノ官 除地 蘆田ノ清

水ト言フアリ 下リ松遺跡アリ 高臺アリ小和

田ノモノニ同ジ 木屋々敷ト呼ブアリ 古城ア

リ中山ナルモノ、遺址

大字 栗住野村 古来百九十七石四斗三升一合

高

故城 蘆田某ノ所居 享保年中迄ハ四方ニ二産

ノ石壁ヲ存シ幅四間ノ遺塚アリタリキ一名九郎

住ノ城ト呼ブハ蘆田九郎ナルモノ、住ミタル故

ト言フ否栗住野ノ轉訛トモ言フ

叫
岐
志

幸世村

幸世村 大字 永上村 賀茂村 井中村 御油

村 伴佐口村 香良村 絹山村 南油良村

北油良村 棧敷村 日比守村 沼村 鴨内村

小谷村

舊稱伴中郷 和名抄ニ出ヅ又油良莊ノ名アリ村

數十五田中、南田中、北田中、伴中、御油、沼、小谷、鴨内、日

比守、伴佐口、香良、絹山、棧敷、北油良、南油良、アリシガ

數田ノ疆同拓草ヲ經テ今ハ幸世ノ村名ヲ冠ス

四十年左一千二百十六 人五千九百八十八 産

物 米 麥 茶 繭 絲

大字永上村ハ本郡名稱ノ起因地ニシテ古時製氷

納貢ノ所タリ氷場上場寺ノ小字ハ製場ト荷作り

京都府立総合資料館

場ノ意ヲ残セリ 四ツ石ナルモノアリ 池形ヲ爲
セリ 村高六百二十五石六斗五升八合山高四石
八斗三田藩領ナリシ 文久同
正一位八王子社 祭神 江州坂本二十一社ノ内
除地九十坪アリシ
城址 西波多野ノ治所ニシテ本宗八上ノ波多野
ノ尾城アリ霧山ト稱ス戰國ノ時ニハ八上ト共ニ
名ヲ四方ニ馳マタル所ナリ波多野主殿頭宗長子
美作守宗貞ハ八上波多野ノ支族トシテ此ノ城ニ
居リ近傍城寨ノ旗頭タリ天正七年五月織田氏ノ
謹話使ヲ謝断スルヤ信長ハ大ニ軍旅ヲ徵發シ諸
道一時ニ並ニ犯ス具ノ將羽柴秀吉ハ西面ニ當リ

羽柴秀長ヲ率ヒ七將萬兵多紀氷上ニ入ル宗貞兵
二千ヲ帥ヒ八幡山ニ屯ス秀長來リ攻ム宗貞驍勇
善ク戰ヒ自敵軍ニ當リ先隊小野木雅樂助等亦善
ク關ヒ勝ニ乘ジテ追撃ス秀長ノ裨將加藤嘉明服
坂安治等奮戰シ踏止マリテ退カズ敗兵亦回リ前
軍ヲ打ツ前軍ノ死傷太多ク士氣漸沮喪セシトス
ルヲ察スルヤ宗貞兵ヲ麾キ退カシメ八幡山ヲ保
タントス秀長ノ軍踵ギ來リ攻勢頗峻ク攻守其ノ
勢ヲ轉ジ退走ノ已ムヲ得ザルニ至リ且ヤ毛利氏
ノ援兵來ラントシテ來ラズ一縷ノ命脈断續ノ秋
トナリ頼ム所ハ多幸ニ繁キ成シタル氷上城アル
ノミ十九日東軍鋒ヲ轉ジ久下城ヲ攻ム宗長乃チ

山崎
城
志

宗久う遣ハシ之ヲ援ク此ノ時ニ當リ西丹ノ諸城
皆陥リ保ツ所ハ久下ト當城トノニ會一土寇蜂
起シ村邑擾乱ス宗貞本宗ノ衰頹ヲ嘆キ志ヲ決シ
逞兵五百ヲ率ヒ郊外ニ出デ秀長ト駈逐シ縱橫擊
倒ス秀長コレヲ察知シ波多野ヲ亡スハ此ノ擧ニ
アリトシ衆ヲ合ハセ勢ヲ均フシテ之ヲ圍マント
ス宗貞手兵ヲ檢スルニ餘ス所三百然レ兵傷殘ノ
餘全キモノアル無シ便チ縲引キシテ城ニ入ル久
下越前守以下ノ枕ヲ并バ鞍ヲ横タフヲ看テ亦自
殺ス秀長進ニテ城ニ入ルヲ得レ比敢テ進マズ
先使者ヲ送り降ヲ勸ム宗長厚ク使者ヲ待シ之ヲ
饗シ之ニ語リテ曰ハク我ガ子宗貞時機ヲ察シ我

ニ先ガケテ死ス我寧ンゾ一命ヲ惜ムニ忍ビシヤ
ト使者ヲ送り出シテ自殺ス敵兵来リ迫ル城兵戰
死スルモノ自殺スルモノ投降スルモノ相襲ギ城
遂ニ敵手ニ落リ藤山吉とて 東京 若水
ハ上氷上降先祖ニ事永保年中百七代ノ帝序即位
ニ帝ヲ奉祀世乃時多レハ祝式ヲ執リ多クベキ標
もふしお上正徳殿宗言公里召居ふハ今祀せりて
王威ヲ表ハサセ玉ハハ急き道をふし天下ニ宣
うせ玉ふふハ且ハ久矣乃冥加マテハ々々廣福殿
ハ由漢宴白殿ハ申サセ玉ハハ敷感事ニ傳ウリ臣
別丹波より求穀菘を奉納布士産大方乃お入之
祝式の瑞り多クハ殿を改め作り進せられ駿

丹波
志

園の多り。二、若木無却大補氏好若木山場守氏細
 江田兵衛氏行苑大鑑在也氏志赤井要在也尉景
 遠之を勤みアハ局於秀治公と水上氏鑑以上治
 人数寺万武とトハ其の時局於ト水上殿も山四位
 竹後ニ界進ありと細井記ニ云へり
 補陀山妙音寺 本堂大般若堂アリ山林百五十坪
 畑三段ノ除地アリキ 妙音トハ尼ノ名ナリ
 本山圓通寺ニ世住職ハ攝家近衛氏ノ公子ニシテ
 僧トナレルモノナルガ其ノ知時其ノ乳母之ヲ奉
 ジ此ノ寺ニ入り七歳ニシテ薙染シ乳母モ亦隨フ
 テ尼トナリ妙音ト呼ブ妙音尼ノ印塔アリ竈壁ア
 リ芝秀ノ下馬札アリ

大字 南油良村 寛政高四百二十一石九斗民家
 五十五石アリテ三田藩領ナリキ 産物 松茸香
 氣ニ富ム
 四社明神社 貴船賀茂春日八幡ヲ奉祀ス 聖四
 町横ニ町ノ除地ナリキ
 中ら山乃ふとくの松乃まろみたるうへとみ代をこぼす
 夫木集名寄 匡房
 若田神社 前示式内ノ若田神社ナリシ乎 嶋ノ
 内宮谷ニアリ
 妙源山観音寺 叡山末 本尊観世音菩薩 慈心作
 ト云フ 本堂庫裏方丈アリ下馬札アリ山林田畑
 高十五石ノ地アリ北油良城主別所豊後守ノ寄附
 ニ係カル 十六善神 十三佛等ノ名幅アリ唐畫

叡
 志

ナリ細紙金泥ノ曼陀羅アリ弘法ノ筆ト云フ
 天名大師ノ畫像アリ檀僧正長尊ノ笈アリ彫刻名
 人ノ手ニ成レリ長尊ハ開基ノ僧ニシテ慶長中ノ
 住持ナリ
 大龍山瑞雲寺 本尊觀音定朝作ト云フ尊馱天
 運慶作ト云フ
 大字 昭村 元祿高四百六十九石九斗三升寛政
 改四百七十石 文久四百七十二石七斗三升三合
 九斗 寛政改人家七十戸 柏原藩領
 正一位八王子社 二町四方陰地神田貳段同
 城址 北山ニアリ蘆田上野ハ光遠舊住ノ所 上
 野社ニ其ノ靈ヲ祭リ若櫻社ニ其ノ先ヲ祀ル

大字 鴨内村 元祿高四百七十三石七斗六升三
 合 四石三斗四升五合五勺新田 山役アリ之ヲ
 合セ四百七十三石七斗六升餘トス 餘トハ當時
 多ク用ヒラレタル所ニシテ不定ノ額トス檢吏ノ
 心持ニテ多クスベク又減少モスベシ文久ニ至リ
 五百一石九斗三合一勺トナレルハ餘ノ字ニ多分
 ノ餘裕アリタルナリ杉浦知行
 熊野權現社 境内登三町横二町除地ニシテ祭資
 米二斗半々知行所ヨリ給與セリ
 大字 日比守村 古時鴨内村ノ穢郷タリ寛政高
 九十九石九斗七升五合文久同水野知行所ナリキ
 大字 伊佐口村 寛政高四百四石八斗三升民家

町
 坂
 土

七十七戸 三田藩領 文久改高同
 荒神社 除地三畝三畝歩 八噐社除地五十間四
 方 藥師堂其ノ内ニアリ
 大字 小谷村 元禄高六十五石寛政改六十八石
 六斗一升四合 再改六十二石二斗四升八合 山
 役四斗一升 寛政度民家十一戸 鴨内ノ一部ナ
 リキ而レテ知行ハ水野
 大字 北油良村 舊高三百九十一石三斗 寛政
 改二百八十石餘 文久度三百九十一石三升 三
 田藩領柏原藩領水野知行相錯ハル 往古井中郷
 ト呼ベリシ所コノアタリニアリ今猶ホ井中ノ字
 ヲ存ス 産物粘耳香氣ヲ以テ名アリ

山王権現社 山王貴船賀茂ノ三神ヲ齋キ祀ルニ
 町四方ノ除地アリキ
 愛宕社 本社奥ノ院寺アリ山上ニ在リテ別當ハ
 福岩寺トス除地十町四方アリ天台宗ニシテ法道
 仙人ヲ本尊トス
 法道仙人
 法道仙人ハ天竺ノ人ナリ其ノサキ靈鷲山ノ中ニ
 仙人ノ苑アリ五百ノ持明仙(併所説ノ明呪ヲ任持
 シテ軀壽堅久ヲ得ルモノ)金剛摩尼法ヲ修シテ皆
 能ク道ヲ得タリシカバ須臾ノ間ニ十方刹ニ遊シ
 デ本處ニ還リケリ神力スデニ此ノ如ク壽無量載
 ヲ得テ人天ヲ化導シ利益ス然ルニ法道ハ其ノ一

山王
 法道
 志

人ニテゾアリケル去レバ或ル時紫雲ニ乘リ仙苑
ヲ出テ支那ヲ経ワタリ百濟ヲ過ギテ吾ガ日域ニ
入り播州印南郡法華山ニ下リテ其ノ山ヲ法華
ト辨スルヲハハノ朶ワカレタルガ故ニ八軸ニ表
シテ名ツケタリ其ノ時溪谷ノ中ヨリ五色ノ光ヲ
出シケレバ法道コレヲ見テ此コソ靈區ナレトテ
居住チ石ノ帯ニ法華ヲ誦シ且ツ密觀ヲ修セリ護
持スル道具トテハ午年大悲ノ銅像佛舍利寶鉢ノ
ミニテ餘ノ長物ハ無カリケル一日多聞天王雲ニ
駕シ來リ法道ニ語りテ曰ハク大仙久シク此ニ棲
メリ我マサニ正法ヲ擁護シ邦國ヲ鎮撫スベシ又
牛頭天神形ヲ西ノ岨ニ現セラ曰ハク我觀ハクハ

災ヲ除ク役ニ任セント其ノ後ニ法道ハ午年寶鉢
法ヲ得テレカバ天龍鬼神未往シ且ツ奉事シケリ
斯クテ常ニ鉢ヲ飛バシテ供奉ヲ受ケタリケレバ
州ノ人空鉢仙人トコレヲ稱スサレバ生石大神ノ
請ハレケルハ鉢ヲ石上ニ置カルベシ在アラバ其
ノ供物ヲ奉テントソレヨリモ其ノ地ヲ空鉢塚ト
名ヅケテ今猶神社ノ西南ニアリ然ルニ大化元年
秋八月ニ船師藤井公場ノ粗米ヲ舟ニ載セラ通リ
ケルニ法道其ノ時鉢ヲ飛バシテ供物ヲ乞ヒタリ
之カバ藤井ノ曰ハク是ハ御厨ノ用事タル精米ナ
リ私ノ情ニハ任セ難シトアリケレバ其ノ鉢スナ
ハキ飛ビ去リテ行キタリケル是ニ於テ船中ノ多

クノ米其ノ鉢ニ隨ツテ飛ビ連ナルト假令ハバ雁
陣ノ山中ニ入ルガ如シ藤井大ニ驚イテ奔ツテ庵
所ニ至リ後悔懺謝シテ憐ミラ乞フ所ニ法道ハ之
ヲ聞キ笑ツテ許諾シケリ其ノ辞終ルト其ノ儘彼
ノ米石ハ前ノ如クニ飛ビ歸シ其米斤石アリシガ
更ニ遺失スルコト無ク只其中ニテ一俵ハ南河ノ
上リニ落チニケリ此ヨリ此ノ地ニハ窟メル人多カ
リキ世俗ニ此ノ處ヲ名ツケテ米隨村ト号シ又ハ
米田ト之ヲ云ヘリ去ル間藤井ハ都ニ入ツテ事ヲ
奏問シケレバ孝德皇帝大ニ感嘆ヲ加ヘ玉フ同キ
五年ノ五月ニ上不例ノ心地ニテ御在マシケルニ
種々ニ醫療ヲ盡クセドモ瘳ヘ玉ハガリケレバ即

千左僕射阿倍倉内ニ宣旨ヲ下シ法道ヲ召シテ加
護セシメオハシマス其ノ時ニ法道宮ニ入ツテ持
念ヒシカバ玉體忽チ平復ナリ玉フ此ノ故ニ六宮
舉リテ拜ヲナセリ斯カリケレバ宮ニ止マルト七
日ヲ経テ釋門ノ真旨ヲ嘆ヘ弘メラレタリ其ノ時
ニ方リテ君臣深ク嘆美ニ及ビケリ是ニ因ツテ無
慮會ヲコソ設ケラル其レヨリモ法道ハ直ニ山ニ
歸リケル扱此ノ年山中ニ勅シテ大殿ヲ立テ所持
シタリケル親自在ノ銅像及ビ佛舍利寶鉢ヲ安置
セリ白雉元年九月ニ落成シケレバ上寺ニ幸シ玉
ヒ又去レバ其ノ始ノ本朝ノ風俗神ノ三童ニシテ
佛ヲ輕シムト多ク法道ノ真乘ヲ唱ヘラルニ歸

法道志

依シツ、天下翁然トシテ心ヲ併道ニ翻セリ同キ
二年三月ニハ宮中大藏會アリ三年季冬ニハ僧尼
宮ニテ齋ヲ行フ是レ皆法道ノ訓化ニヨリテナリ
去レバ法道山ニ居ルコト數十歳ナリ一日衆ニ告
ゲテ曰ハク我本ト耆闍崛山ノ仙園ニ棲ミタリシ
ガ誓クコ、ニ来リテ誘引化導セリ今將ニ歸ルベ
コトテ即今偈ヲ作ツテ曰ハク我化有情来此地留
下像鉢舍利羅一歩斯境所求得永出三途見佛陀ト
言ヒ終リ便チ大光ヲ放ツテ飛ビ雲中ニ入レリ去
ル程ニ法道ハ多ク精舍ヲ營メル故詣國徃々ニ其
ノ跡アリ今尚ホ存セルモノ是レ法道ノ遺徳ナリ
ト稱美ス

大原山安養寺 曹洞宗 隆三町横一町ノ除地アリ
別所豊後守吉治ノ邸地一町四方 吉治ハ播磨三
木ノ城主某ノ子ナリ父ハ明智光秀ニ攻メラレ三
木ニ死ス吉治孤子トナリ東西ニ流寓シ大坂ニ留
マル吉治ノ伯母カ徳川ニ代將軍幼兒タル時之ヲ
乳養セシ縁由ヲ以テ將軍ハ尋ネテ曰ハク汝ニモ
何カ望アリヤ予ヲ懇ニ育テシ功ニ報ヒタシト楨
ミテ答ヘケルヤウ私ノ家ハ赤松圓心が未ニテ候
ノ何卒家名ヲ立テ下シ置カレ候フ様御願ヒ申シ
奉ル此ノ外ニ私ノ願望候ハズト申シケレバ其ノ
從子ヲ豊後守ト稱ヒシメ丹波ニテ二萬五千石ノ

地ヲ賜ヒタルガ慶長末年ヨリ漸ク驕慢ノ行ヲ成
シ斯カル恩アル伯母ヲ虐待セシカハ將軍ノ怒ニ
觸レ寛永四年封地ヲ收メラル、ノ命アリ吉治念
リ邸第ヲ自燒シテ圓通寺ニ遷レ薙髮シ後ソノ行
ク所ヲ暗マシ終ル處ヲ知ラズ此ノ人馬術ノ名人
ニテ弟子許多アリ伯母ハ先キダテ死シ村奥朴
ノ木谷ニ一墓ノ塚ヲ留メタリ
小字 田中村 寛政高四百二十九石一斗餘 文
久改四百三十石三斗八升三合民家五十戸常樂ニ
四戸 柏原藩領 藩ハ此所ニ鑄物師ヲ置キ軍用
常用ノ器具ヲ鑄造シメタリ
高雄山愛染寺 古昔千箇寺アリトテ今ニ高尾千

軒ノ言葉ヲ遺セリ山頂高聳シテ雄姿アリ山群虛
ナラズ遠ク山城ノ愛宕ヲ瞰ムベシ圍碁ノ松アリ
一名平松ト呼ブ法道仙人ノ手栽ノモノト云フ
小字 南田井 天保年間ニハ北田井幸田井ノ二
村アリ合フテ田中村トナリ又分レテ二小村トナ
リ幸田井高二百六十二石七斗八合ヲ納ル天保年
中ノ改ナリ文久ニ至リ二百六十三石六斗四升九
合ハクナル民家二十二戸アリテ柏原藩領ナリ
小字 北田井 寛政高三百四十九石八斗一升五
合 文久同ニ安藤内藏助知行
賀茂明神社 境内隆三町横一町ノ除地 神田若

山城志

千畝アリテ祭費ニ供ニ祭典ニハ京都ノ賀茂社人
 来リテ祭事ヲ執行シタルニ天正乱後祭事罷ニ祭
 田獲ハル祭神別雷命古劍諸國ニ必コノ一社アリ
 小字 氷間下村 高四百七十一石九斗小物成即
 子難税三石八斗五升 領主撰津三田藩常租ハ藩
 主ニ納レ小物成ハ幕府代官小堀數馬ニ納ム
 八王子大権現社 一寸八分ノ觀音ヲ祭ル法華經
 アリ紺紙金泥ナリ堂ニ納メ法華堂ト呼ブ又法華
 經塚モアリ夕リキ法華經ノ末文ニ云ハク
 奉建立八王子大明神牛頭天王者則御神體
 法華妙典全部
 大檀那 播州涼朝臣別所豊後守吉治

願主 幸陽山觀音寺意春修行所也

時 元和元年癸亥十一月吉日

社地一段二畝步除地
 高月山常現寺 一向宗 除地七畝步
 愛宕文殊石
 大字 絹山村 本所柳所ヲ合ハセ寛政度高文久
 度同三百九十四石六斗八升 後改四百五石四斗
 八升六合トナル三田藩領
 柏原黒井其ノ他近傍諸村ヨリ但馬ニ往来スルモ
 ノ途ヲ此ニ取ルヲ以テ農家ニ難スルニ旅亭ヲ以
 テシ小諸店ヲ以テス 産物ニ栗茶アリ
 箱荷社 除地四百步

田村山今詭寺 真言宗本尊藥師ハ作佛 本山無
ク檀家モ無シ 借正迹ニテ除地
空無彦兵衛 天正年間織田勢ガ但馬ヨリ攻メ入
ル時ニ當リ木下秀吉數度此ノ地ヲ過キ一農家ヲ
認メ入り休フ主人ノ懇ナル待遇ヲ賞シ物ヲ與ハ
テ謝シ且ソノ姓名ヲ問フ主人答フルニ空無彦兵
衛ト云フ秀吉兵ノ奇姓ナルヲ笑ヒ一興ヲ催シテ
酒ヲ呼ビ宴ヲ開キ主人ト酬酢シテ樂ムヲ少時ナ
リ秀吉平素酒盃ヲ手ニセズ而ルニ今此ノ如キハ
珍ラシトテ侍臣モ不思議ニ存ゼシトカヤ
大字 御油村 北御油村トモヲ合セテ高八百石
一斗二升寛政度改七百八十石 當時民戶七十五

文久改高七百九十二石八斗八升五合 柏原鏡
正一位賀茂大明神社 北御油村ニ鎮座 社域除
地長六十間横二百間
式内御油総社ト呼ブ 圓通山ニアリシヲ圓通寺
開創ノ際社人ヨリ其ノ山林ヲ寺ニ讓リ社ヲ今ノ
地ニ移セリ 往昔京都鴨社ノ神服ハ丹波ノ御厨
ヨリ調進スルノ例ナリシヲ鴨ノ稱宜惟季ノ時ヨ
リ加美ノ御厨ヲ此ノ所ニ左テ二季ノ神服調進ノ
事ヲ勤ム天平神護元年鴨御祖廟ニ丹波ノ十石ヲ
奉リタルモ此ノ所ニヤ本社奉祭ノ伊賀古夜比賣
ハ鴨明神ト由縁アル神トコソハ承ハレ延喜式頭
注ニ曰ハク賀茂建御身命婦伊賀古孺日賣命也玉

御油村志

依姬鴨御祖神也玉依彦可茂縣主等遠祖也
葉師菴 本尊如來ハ古城主令村氏ノ持併ト云フ
永谷山圓通寺 曹洞宗 古昔ハ獨立寺ニテ五山
格ヲ有シ禪家觸頭トシテ丹波但馬播磨ノ諸寺ヲ
支配シ末寺ニ百餘アリテ郡國ニハ希有ノ寺格ナ
リキ開山ハ足利尊氏ノ第四子ニシテ教賜莫冲禪
師トシ其ノ弟二世ハ近衛從一位閑白道嗣ノ子ノ
牧翁性欽トス牧翁五歳ニシテ永谷ニ入り十三歳
ニシテ剃髮ス莫冲其ノ偉蓋ナルヲ知り提誨少シ
モ緩メズ奉事スル數年一朝機發ス應永甲申ノ歲
葛野ニ移リ一草庵ヲ結ビ趺坐スルヲ十又三年名
ツケテ松山寺ト呼ブ俊公順世ノ後ノ遺命ニ從

ト其ノ席ヲ補ヌ十年ヲ経テ永澤寺ニ任職シ文安
五年越ノ慈眼ニ入ル明年辞シテ永谷ニ歸住シ康
正元年十二月十九日辞世ノ偈ヲ作り又手當胸ニ
テ逝ケリ
本尊如意輪觀世音ハ勅旨下賜ノ貴重作併ナリシ
カ燒失ス寺額ハ後圓融帝ノ宸筆 寺境ハ七尾七
谷ヲ占メテ天然ノ刹相ヲ有ス寺領一千石細川勝
元丹波ヲ領スルヤ更ニ之ニ加フ所アリ 本堂
御影堂位牌堂禪堂庫裏衆寮江湖寮山門鐘樓一切
經藏菩提堂浴室中門黒門下馬牌等具備シタルニ
明智ノ兵火ニ逢ヒ寺領モ没入セラレテ衰亡ニ類
セリ四方ノ喜捨ニテ再造ニタル堂宇又八十年前

二燒失シ今ヤ昔ノ竹ハ只舊記ニ見ルノ三寛永中
 幕府ヨリ朱印ノ下賜アリテ僅ニ舊地域ヲ有ツノ
 三明昭ニ至リ常恒會格認可僧堂ナルモノヲ創始
 ス
 大字 棧敷村 高二百七十五石八斗二分四合八
 斗
 内 二百石八斗一分九合 三田領 三十九石八
 斗一合四分 水野壹岐守知行 三十五石二
 斗四分四夕 柏原領
 大字 井中村 舊高五百四十七石七斗七分九合
 五夕寛政改六百七十五石餘 文久改百二石三斗
 九升八合 本多泮路守知行 古井中村五十四石

四斗九升六合ト新井中村二百九十七石一斗三分
 五合柏原藩領 寛政度民家百十五戸 穢多四戸
 神女二戸
 三寶荒神社 境内山林除地
 昔話トシテ所ノ人ハ云ヘリ此ノ地蛇蟻ノ惡蟲ハ
 居ラヌ升ハ安倍ノ暗明ガ封ジ込メタル故ナリ他
 國他村ヨリ此ノ所ノ土沙ヲ取リニ来ルヲ多カリ
 是レヲ以テ散布スレバ惡蟲退治ニ効アリト
 大字 香良村 寛政度高五百二十四石九斗三分
 民家百戸 三田藩領
 式内加和良神社 住吉神社 二十間四方除地
 東面ニ一大高山アリテ谷間ノ土沙流ト落キ土田

町
 成
 志

慶ジテ河原トナリレヨリ何時ノ頃ヨリカ香良神
社ヲ河原神社ト誤リ呼ブニ至レリトモ云フ
若宮ノ森明神社 長五十間幅ニ十間除地
三寶荒神社 二段歩除地
古城 首塚 足立椎頭ノ郎地ナドアレド事蹟詳
ナラズ
勝坂ノ戦地 天正年中ノ事トカヨ赤井悪右衛門
一軍ヲ率ヒ来リ此地ニ於テ足立新九郎ヲ討ツ
敵勢倔強ニシテ味方漸疲レントス悪右衛門コ、
ハ何ト曰フ所ゾト問フ馬奔對テ勝坂ト云フ悪
右衛門之レヲ聞クテ喜色滿面勇氣百倍ニ遂ニ奮
戰シテ勝利ヲ得タリ

岩瀧寺 山間隱僻ノ地ニ不動尊ノ岩洞アリ洞高
廿五間幅ニ間瀑布一丈五尺幅平水ニテ五尺許不
動山ノ陰ニ懸カル名ヲ獨鈷ノ瀧ト呼ブ東方ノ烏
帽子山亦石窟ノ不動アリ 寺堂ニ安置スル不動
ハ弘治大師ノ作トテ善男善女ノ信向心ヲ惹ク開
基ヲ弘治トシ正月十六日七月十五十六兩日法會
アリ慶者群至ス 昔年淺田某劔道ニ心ヲ籠メ研
鑽怠ラザリシガ今一段ノ上達ヲスルニハ神佛ノ
加護ヲ仰ガザル可ラズトテ来リ此ノ不動ニ心願
ヲ籠メ一心不乱ニ参籠シタル效顯ハレ夢中ニ秘
法ヲ授カリ茲ニ一傳流ヲ創メタリ其ノ名次第ニ
世ニ聞コエ遂ニ福知山藩ノ聘スル所トナリ藩ノ

京都府志

教授トナレリ
 籠リ堂アリ瀑布ト石窟トノ間ニ在リ地勢世間ト
 隔絶シ嵐氣人ニ逼マル顛狂人常ニ數名アリ精神
 ノ沉静ニハ自然ノ妙アリ一大櫻樹アリ幹ノ圍
 リ七尺春期花影ノ地ヲ覆フ大九四十坪遠望ス
 レバ白雲ノ如シ
 五台山 五百六十九米突
 三如来寺
 圓悟寺

遠坂村

遠坂村 大字 遠坂村 中佐治村 山垣村
 地勢ハ郡ノ西北隅ニアリテ長方形ヲ爲サントシ
 テ南面稍屈曲ヲ免レズ北方天田郡ニ界シ西方但
 馬岡朝来郡ニ觸レ南方神樂村ニ連ナリ而シテ佐
 治村東ヨリ南ヲ擁ス
 天田郡界山嶽相連ナリテ佐治村界ニ至リ神樂村
 疆亦山嶽連亘シ中ニ一條ノ田野アリ而モ高低參
 差クリ
 明治四十年ノ戶數五百四十一 人數二千四百六
 十九
 民有地一千四十四町三段 此ノ地價八萬二千七
 百圓

遠坂
 志

主要産物 米麥蕎麥三極木材木炭
 大字 遠坂村 小字 徳畑 今出 高二百七十六
 石 寛政改民家百五十戸 柏原領山間ノ僻地ナレ
 ドモ 但馬街道ナルヲ以テ 四町ノ間 旅店商店軒ヲ
 并テ 但馬界線ハニ里 只一條路高ク 朝来郡ヨリ
 村中ヲ貫キ 東南シラニ 宇中 經過シ 佐治村ニ達ス
 宇中 佐治ニ於テ 四股ヲ爲ス 南シテ 佐治町ニ北シ
 テ 天田郡ニ東シテ 蘆田村ニ至ルベシ
 産物ニ 山出ノ物ノ外ニ 烟草アリ 香氣ハ乏シ 小
 奥ニテ 味佳ナリ
 正一位 熊野大明神社 今出ニアリ 神田高三石
 除地 本殿 舞殿 鳥居アリ 西部神道ノ時ノ遺物ト

シテ 鐘アリ 薬師堂アリ 本社ノ起源ハ 長祿元年
 井尻谷ニ 勅請シ 天文二十四年七月廿六日 今ノ所
 ニ 新殿建立 遷宮セリ 御手洗瀑布等 井尻ニアリ
 撫石アリ 手摺リノ迹アリ 是レハ カラカハ谷 奥ニ
 アリ 休岩アリ 僧ガ 風呂 鋪包ヲ 携アルカ 如キ 立岩
 アリ 温泉 北ハ 湯ノ 段ニアリ 冬時ノ 嚴寒ニモ 霜雪
 ヲ 置カズ 蒸氣ノ 出ヅルヲアリ 徳畑ニ在リ
 古城 今出ニアリ 又田ノ 口東ノ山ニアリ 今出
 ノハ 足立 伊豆守ノ 居所ト云フ
 古塚 経ノ 尾ニアリ 又奥山ニアリ 高サ 各々 三尺
 壺 類ヲ 出サセリニ 百年前ノモノト云フ
 大岩 唐ガ 剝ニアリニ 所許ノ 天サアリ

町
 史
 志

徳畑ノ足立家ハ本郡中最大ノ農家ニシテ田疇ニ
役使スル者日ニ三十五名甚クハ丹波國中具ノ比
無カラシ

大字 中佐沼村 小字有河内ヲ合ハセテ高六百

六十石 小柳成山役ヲ加ハ六百八十二石三斗二

升五合 寛政改 當時民家百十戸 平岩七之助

市岡佐太夫 知行 不動岩 礎石ニ爪痕ヲ存ス弘添大師指頭ノ彫刻

トカヤ 大字 山垣村 元禄高五百七石寛政改五百五石

文久度五百十七石五斗五合柏原藩領永見伊豫守

知行相交ハル 後ニ改四百五十八石二斗柏原領

五十八石八斗五升五合能勢市十郎知行

郵蹟 足立修理大夫足立哉後守ト足利政利等ノ

所居ト云フ 足立氏退轉後村内舊家ノ五族村高ヲ五分シテ押

領ニ他人ノ所有スルヲ許サ不故ニ近世ニ至ル迄

五家ノ外ハ皆無田百姓ナリキ

古城 赤井家ノ属將久保田左衛門尉ノ守ル所明

智軍ニ攻奪セラル 古池 不淨ノ女コレニ近クバ濁ルトテ人恐ル

神樂大明神社 境内除地

八幡大明神社 同

萬歳山報恩寺 禪宗 久保田左衛門尉遠政ノ開

京都府立総合資料館所蔵

基 萬歳山ニアリシヲ明智ノ放火後今ノ所ニ再
 建セリ境内一段ハ畝除地
 遠坂一名佐治山峠ハ但馬國朝来郡ニ通ル險路
 ナリシヲ維新後車道開通シテ一里八町ノ道路モ
 迂迴シテ殆シド倍數ス
 孝子 與三右衛門 寛政三年褒賞セラル羊四十
 一
 盆踊ノ盛ナルヲ驚ク可シ神社ノ前ニ群集シ櫓
 ニ懸燈シ櫓上ノ長竿ヨリ四方ニ引キタル繩ニ練
 燈ヲ連ネ晝ヲ欺クバカリノ明煌々裏ニ笛鼓鐘相
 和シ音頭櫓上ヨリ起リ古調一律踏歌者浴衣類
 中ニ重ニ重ニ圓輪轉廻夜深々人加ハリ女裝ノ男々

扮ノ女簀笠ノ一隊旅粧ノ半隊異種多樣愈々出デ
 愈々怪蓋シ盆踊踏歌中ノ巨魁カ

叫
 岐
 志

和田村

和 田 村	大 字	和 田 村	小 新 屋	板 村	前 川 村
北 和 田 村	草 部 村	應 地 村	坂 尻 村	五 ヶ 野	
村	西 谷 村	小 畑 村	小 野 尻 村	山 本 村	福
田 村					
戶 數	壹 千 壹 百 五 十 六	人 口	六 千 壹 百 二 十 三		
明 治 四 十 年					
民 有 地	二 千 四 百 十 一 町 七 畝	同 地 價	十 六 萬 七 千 二 百 四 十 一 圓	同 年	
大 字	和 田 村	高 六 百 三 十 五 石 六 斗 七 升 五 合			
山 役	高 三 百 石	寬 政 度 改 民 家 二 百	水 野 家 知 行		
所	上 町 中 町 下 町	ア リ テ 農 高 相 半 ス	產 物	木	
林	米	麥	茶	生 絲	栗
					凍 蒟 蒢
					黃 連
					水

和
田
村
志

豆腐 黄連ハ桑園茶園ノ間ニ栽ウ日蔭ニ生育ス
ル草ナレバナリ獲葉トシテ繪具用金粉代用トシ
テ用ヒラル天田郡川合村ノ部ヲ参看スバシ
尋常高等小學校 郵便局 株式會社 佐治銀行
支店 西丹野蓄銀行支店 製絲合資會社 氷上
幡立株式會社 黄連會社等アリ
道路 姫路ヨリ福知山ニ達スルモノ小野尻峠ニ
起リ當村ヲ過ギ石生黒井上田竹田ヲ経テ塩津峠
ニ終ル之ヲ本郡ノ第二線路トス
徳川氏ノ時陣屋ヲ此所ニ置キ七千石ヲ支配シタ
ルハ水野家ナリ代官一人江戸邸ヨリ来リ收稅行
政懲罰ノ事ヲ執リタルモ便宜上當村ノ舊土豪ニ

命ニ具ノ事ニ當ラシメタリ水野家ノ知行所ハ諸
村ニ散在セリ
模範村長野添靖 公共事業ニ盡瘁シ基本財産ノ
積蓄ニ勤メテ具ノ効ヲ奏シ村費ハ具ノ利子ヨリ
支辨ヒテ餘アルニ至ラシメ眞ヶ嶋ナル不毛ノ地
ヲ相ヒテ新田ヲ墾シ八十餘石ノ米ヲ收ムル等ノ
事業アリ小事細件ハ之ヲ舉グルニ違アラズ政府
コレヲ賞スル丁前後共ノ幾回ナルヲ知ラズ遂ニ
模範村長ノ名譽ヲ博シ得
大字 北和田村 高五十五石餘 織田肥後守知
行所 寛政度改五十戸楨御 文久改百九石八斗
七升四合 毎年七月舊領主和田日向守ノ邸宅ヲ

京都府立総合資料館所蔵

掃除一切ノ汚穢物ヲ引取り持歸ルノ習慣アル
ヨリ他村ノモノニ遠過セラレズ遂ニハ穢多視セ
ラレタルナリトブ此等ノ人種ノ祖先ハ領主和田氏
カ信濃國ヨリ拉シ来レルモノニシテ小數ヨリ繁
衍シ部ヲ成シ邑ヲ成シタルモノトノ口碑ヲ存ス
大字 梶村 元高三百八十七石四斗八升三合八
夕 改三百八十五石八斗五升 同領知行
産物 粟 粟 梶村橋 三十餘間
齋大明神社 長七十間横二十間ノ除地アリシ
也足寺 山号金峰 本尊釋迦文殊普賢ノ倍位ナ
リ曹洞宗 圓通寺末 本堂庫裏觀音堂アリ本堂
ノ扁額ハ小野道風ノ書トテ釋迦如来轉法輪處ノ

八字アリ金粉モテ潤色セリ境内四十間ニ二十間
ノ除地アリ門内門外往觀スルニ足ル況テ此ノ名
額アルオヤ 傳ハ云フ村上天皇ノ應和元年秋八
月空也上人行脚ノ序コノ所ニ留宿ス一夜夢中毘
沙門天出現レ告ケテ曰ハク一字ヲ此所ニ建テヨ
上人錫ヲ停メ數日ニシテ夢現ノ像ヲ木ニ刻シ一
字ヲ以テ之ヲ掩ヒ上人所居ノ大和金峰山ノ名ヲ
取り空也ノ也ト足ヲ留メタル所トノ意ヲ表シテ
山号寺名トハナセシナリ
大字 前川村 元録高二百七十九石三斗七合二
夕寛政二百七十八石七升三合當時民家五十五戸
文久高同ジ 同知行 産物 粟 搗栗 串柳

京都府立総合資料館所蔵

小字苗田高八十二石一斗八升九合六勺 寛政度
 民家三十戸 杉浦知行所
 石金山頂ハ播磨ヲ俯瞰スマク冷路ヲ遠望スベシ
 土人云フ大鼓ノ音スルヲアリ
 阿歩社 五段歩除地ナリキ 大歳社 本社舞殿
 釣鐘アリ二段歩除地ナリキ
 永照山安養寺 十五間四方除地ナリキ
 小字 中村 高十石二斗三升三合 寛政民家十
 五戸 代官小堀支配
 福田村分レテ二部トナリ一部ハ沼貫村ニ入ル元
 高七石五斗六升六合寛政新檢六十八石七斗四升
 三合六勺荒引残高五十三石餘粟役七十九石五分

但粟一本銀一分定山役ハ斗一升丈レ七石臺ヨリ
 非常ノ増額ニテ五十石臺ニ升ルハ荒引又ハ新田
 等不課ノ地アリタルニ因ル此ノ地元來田地皆無
 ニシテ畑ノミナリシナリ山役ハ小堀數馬ニ納メ
 諸税ハ杉浦ニ納ヒタリシナリ元禄九年享保十七
 年西度新開地高八斗六升八勺増一部沼田村ニ入
 ル 産物 栗
 大字 草部村 元禄高百七十石九斗一升寛政改
 百四十二石二升九合民家九十戸 水野壺岐守知
 行所
 八階社 五段歩ト畑地少許免稅地ナリ 大路権
 現社 一段三畝同上

町
 岐
 志

大字 應地村 寛政度改高元ノ如ク百八十二石
九斗七升一合六勺 民家三十戸 高ノ内百三十
一石四斗九升三合ニ勺柏原藩領内五十一石四斗
七升八合 水野家知行 外ニ粟役トシテ銀百三
十匁但一株一匁定後年粟樹減少ヲ申シ立テ山役
トシテ納銀スルトナレリ斯クスレバ粟樹増殖
ストモ數ニ因リテ増殖スルトテ預防スバケレバ
ナリ高ニ應ジテ領主地頭ニ納ムルナリ舊稱大内
ナリレテ幕府ヨリ命ヲ下シ今ノ名ニ改メシム古
時十左衛門ナルモノ、宅地ニ一大桐株アリ村人
之ヲ奇材トシ評議ノ決果コレヲ朝廷ニ奉獻ス時
ノ天皇コレヲ嘉賞アラセラレ具ノ特志ヲ感福シ

玉ヒ大内丸ト稱シ村人ニ大内ノ字ヲ取テ爾後コ
レニ因テ大内村ト呼ビタリ寛政檢地ノ際ニ幕府
命ジテ今ノ名ニ改メシム是レ具ノ幕府常套手殿
ノ在ル所ニシテ人民ヲ朝廷ニ接近セシメガル趣
旨トコソハ知ラレ
大歳大明神社 除地百坪アリキ
醫王山神宮寺 境内三畝三畝十歩ト外三畝歩餘
免稅ナリキ
小山 片山 寛政高百六十八石四斗五升六合
文久改百三十石ニ斗五升二合七勺 水野家知行
大字 小新屋村 高二百六十七石六斗三升五合
同家知行

京都府立総合資料館所蔵

大字 小畑村 高百三石四斗四升七合 文久百
 十四石一斗八升三合 内六十五石九斗三升三合八
 勺 杉浦知行 四十八石二斗四升六合五勺 水
 野家知行
 銅山 休鑛ス 元禄九年新開地高一斗二升塘杉
 浦知行ノ分
 大字 西谷村 寛政高七十五石一斗九升七合
 民家七十戸 文久百二十五石八斗九升五合三勺
 水野知行
 銅山 廢鑛
 篠ヶ峰 播丹ヲ境ス登路二里 恩ヶ峰ト共ニ三
 國山ノ脈ヲ爲ス 頂上ヨリ七圍ヲ眺ミ得 茅野

内ハ大谷ナレド水渴ス 弘治大師掛錫ノ時ニ飲
 料水ヲ乞フ村人喫ハス爾後溪流涸渴ストノ怪説
 アリ 奥山ニ桂樹ノ大ナルアリ 莫野カ測ト御
 所カ谷アリ
 大字 坂尻村 佐賀尻トモ書ケリ 寛政高八十
 四石六斗四升二合 民家七十戸 文久高百十一
 石二斗九升四勺 水野知行
 大字 五ヶ野村 寛政高六十一石四斗七合 文
 久八十四石五斗四升四合一勺 水野知行
 風穴字サカシニ在リ洞口三尺許 僧カ龍アリ
 小字 若林高百三十二石六斗餘 寛政度民家七
 十戸 杉浦家知行 産物 栗 枹 串枹

京都府立総合資料館所蔵

小林町ニ盲人左内ナルモノ孝子トシテ親ニ奉ハ
 タル遺址アリ
 大字 小野尻村 天和二年高二百九十八石九斗
 二升一合三勺 享保七年 兩度新開高七斗九升 寛
 政度 匠家七十五戸 文久改高三百石四斗四升
 九合九勺 石造ノ鹿砦アリ高ヤ四五尺ニ及テ古
 来ノ歡宮想ヲバシ 公儀御林一畝十五歩 幕府
 ヲ公儀ト云フハ當時ノ習慣ナリ
 稻荷社 古稱大歳大明神 寛政度改除地三畝一
 歩
 三ノ宮八幡宮 本社舞殿奥舎烏居鐘屋等アリテ
 西部ナリキ一町四段五畝二十五歩ノ除地アリ高

室山威徳寺ト稱セリ
 醫王山安徳寺 真言宗 境内除地ナリキ
 覺行山大光寺 除地三畝三斗アリキ
 佛生山天徳寺 真言宗 除地五段歩餘アリキ
 大日堂ノ本尊ハ雲慶ノ作トゾ
 舌舟山親縁寺 浄土宗 古城王佐野下総寺開基
 除地高二石一斗五合三勺
 城址 和田日向守ノ居所此ノ仁永正十七年信濃
 圍ヨリ来リ舊人ハ谷野某ト婚シ後年謀ヲ回レテ
 彼ヲ殺シ其ノ城地ヲ并セ己ガモノトス谷野ハ出
 雲守ト稱シ文明中既ニ此ノ地ニ割據シタル者ナ
 リ和田氏ニ世ニシテ没落シ作左衛門ナルモノ出

亡し其ノ所在ヲ知ラズ 天正元年木戸大住坊ナ
ルモノ近江國ヨリ來住ス室所將軍ニ奉ヘテ此ノ
地ヲ賜ハリ佐野下總守ト稱ス天正ノ亂ニ亡ブ城
名岩尾

和田故城

大宰春臺

數里層巒路轉回雲埋老樹繞崇臺山花不避兵戈地
追逐春風照綠苔

界出川 村南ヲ東流ス 雨降レバ良久フシテ水
至リ而罷ミテ流止マズ天晴レテ後ニモ雨アリシ
ヲ思ヒ出カスノ意トカヤ
蛇山化物屋敷等アリ怪談アリ
小字 富田 高八十二石一斗七升八合九勺 寬

政中改三十戶 明治四十一年 五十戶 杉浦知行

鍛工甚太夫刀槍ニ妙手ナリ和田城主ノ屬工タリ

大字 福本村 高三十二石七斗四升七合 寬政

民家三十三戶 同知行 片山村ト合シ山本村ト

呼ビタルヲアリ

野瀬倉山佛光寺 禪宗 大同元年創建佛像許多

アリ 聖德太子作ノ毘沙門 弘治ノ地藏 行基

ノ藥師等ヲ巨擘トス 除地一畝二十歩アリキ

牛王大権現 本地觀音トカヤ一畝三段ノ除地了

リキ

京都府立総合資料館所蔵

成松村

成松村	大字	萩柴町	常楽寺	上成松村	黒田
村	大岡村	西中村			
成松ハ舊保名ナルカ何日ノ程ニカ村名トハナレ					
リ大古ノ石前ト呼ビ中古ノ石前郷ト呼ビタルハ					
此ノ所ナルベシ古書ニ丹州成松保ハ正續院領地					
トアリ	村域ハ山西ニ属スト雖本郡ノ中央ニ位				
シ本郷ソノ東ニアリ葛野ソノ西ニアリ幸世ト沼					
貫トツノ北ト南ニ在リテ四方皆村ナリ自然ノ地					
勢ハ茲ニ集散ノ便ヲ得テ何日ノ程ニカ交易ノ場					
トナリ萩柴町ヲ形造リテ高賈ノ表佳スルアリ次					
莫ニ開ケテ石増シ街通ニ戸數三百トナリ上町中					
町下町東町北町西町念町新田町等ノ設置トナリ今					

丹波志

丹波志

ヤ四十年戸六百三十六 人三十三百七十五(六字ヲ合)
 トナルニ至レリ往時近在ノ農父カ藁ヤ菜ヤ瓜類
 ヲ賣リニ出テ葛野アタリノ樵夫カ薪炭ヲ賣リニ
 来リ相互相替ヘテ便トセリ蓋シ葛野ノ諸部落ハ
 山間ニアリテ田少ク成松ノ造ハ田ニ富ニ山少キ
 ヲ以テナリ是ノ事ガ頃テ高業地トナルノ基礎ニ
 シテ遂ニハ商品ノ四方ヨリ蟬集スルノ衝トナリ
 氷上ノ京ト呼ハル、迄ニ至リ柏原ヲシテ頗巨無
 カラシメタリキ毎月定日ノ市アリ三八ヲ雜貨ト
 シ一六ヲ魚類トシ五ノ日ヲ以テ古着トス 萩柴
 町七十一石七斗六升六合四夕ハ文久高ニシテ文
 政年度ハ百六十石當時已ニ町家二百餘戸アリテ

招ノ町ト呼バリ 鍋ノ産物アリタリ 現今ノ産物
 ハ米 麥 茶 生絲 真綿等ヲ主要トス 尋常
 高等小學校 郵便電信局 成松銀行 葛野銀行
 純成合資會社 成松魚類會社 村役場等具ハ
 ル
 縣道 播磨高砂ヨリ福知山ニ達スルモノ一線ア
 リ 里道ハ葛野幸世等ニ達スルモノアリ
 橋長カ二十三間 明治三十七年ノ設置
 大字 上成松村 元録高六百十四石 寛政改六
 百二十八石六斗二升七合 當時民家七十戸 西
 中ニ穢郷ト呼バレ七十戸 西中今ハ大字トナレ
 リ 箱垣長門寺知行

京都府立総合資料館所蔵

一宮大明神 本社拜殿鳥居アリ 竪二町横一町除
 地ニテ天神社アリ 觀音堂釣鐘等モアリ 西部ノ仰
 ラ存セリ
 古城 宇城内ニアリ 勝田勘八郎ナル者ノ居址ニ
 テ天正年間明智方ニ亡ホケル具ノ墓西念寺ニア
 リ
 大字 常樂村 元録高七百十八石七斗七升八合
 當時民家九十戸 寛政高六百六十六石 文久六
 百六十石六斗九升 水野知行 主基名所ノ一十
 リト云フ
 大梵天社 社地四町半除地ニシテ保壽山園融寺
 アリ

大字 黒田村 元録高二百八十九石 寛政改檢
 三百二十六石二斗三升二合 民家五十戸 稻垣
 長門守知行
 大歳大明神社 除地竪四十七間横三十四間
 大字 大岡村 高四百三十石一斗餘 民家六十
 餘戸 文久改四百三十三石〇四升六合 柏原藩
 領
 大歳大明神社 本地十一面觀音ヲ祭り 神宮寺ト
 呼ビ修驗僧住職ニタリ
 城山 久後兵衛ナルモノ、所居
 孝女サシ 無田百姓ノ子 天明四年時ニ三十五
 齡康賞セラレ下賜品アリキ

町
 坂
 志

朝鮮竹 鑑内氏ノ園中ニ斑文竹アリ氏ノ先祖某
 豊太閤ニ奉ハ朝鮮ニ渡リテ得タル所ノモノニテ
 移植後繁茂シ幾叢ヲ爲セリ領主柏原藩主之ヲ愛
 護シ移植分栽ヲモ禁ジタリキ

竹田村

竹田村 大字 中竹田村 下竹田村
 竹田郷トモ前山庄トモ呼ビタル所ニテ中古上中
 下ノ三個竹田村トナリ町村制施行ノ際上竹田村
 ハ前山村ニ入リ中竹田下竹田ノ二村小部落トシ
 併セ竹田村ヲ新造ス
 戸 六百十 人二千八百八十 明治四十年
 産物 米 麥 茶 繭
 尋常高等小學校アリ銀行アリ停車場アリ商店アリ
 リ旅亭アリ 古來竹田ト呼ビ田舎ニテノ小
 繁華ノ地トシ九社アリテ各自神輿ヲ出シ竹田ノ
 九社祭トテ一郡ノ人氣ヲ集ムルノ祭禮ヲ行ヘリ
 道路 福知山ハ行クモノハ下竹田ノ塩津峠ヲ經

丹波志

于郡界ヲ越エ 上田ヨリ別レテ上垣前山石原
 ラ過キ天田郡界ニ及ブモノモアリ 竹田川此ノ
 西道ノ中間ヲ流レ天田郡ニ入ル
 大字 中竹田村 小字西海子 三十五戸 寛政
 水上 三十五戸 同 新道具 五十戸 同 高坂
 二十戸 同 安賀 十戸 同 岩倉 二十戸 同 一ノ
 貝 二十戸 同 上友正 四十戸 同 大森 四十戸 同
 舊高 千四百四十九石四斗五升一合 改 千四百五
 十二石六斗七升一合一勺 内六百二十石九斗一升
 八合九勺九才 公卿菽野家領 八百三十一石七
 斗五升二合一勺六才 旗下士水野壹岐守知行
 文久改 千四百八十石八斗九升五合七勺四入 内六

百四十石九斗七升一合一勺八才 菽原 八百三
 十九石九斗二升四合四勺六才 水野
 式内 伊尼神社 一名一宮正一位大明神 一町
 二段古采除地
 式内 伊都伎神社 名神正一位 三十間四方除
 地 日本四大宮ノ一ト云フ麻呂子親王鬼退治ト
 エテ下向ノ際ニ齋ヲ祭り玉ハル所ト云フ
 八幡社二所 一ハ新道具ニアリ社地六百坪免除
 地 一ハ友栢ニアリ六百坪計除地
 加茂明神社 高坂ニアリ高坂岩倉安賀ノ産土神
 トス千六百坪除地
 熊野権現社 一ノ貝ニアリ二百坪ノ除地

丹波志

シシガノ靈神社 領主萩原家ノ祖先ヲ祭ル 中
竹田ノ舊家吉見久良部等米リ祭ル
一ノ貝 一ノ貝ニノ貝三ノ貝ハ山伏ノ吹ク沓螺ニ起因
ス古來修驗僧アリテ丹波全國山伏ノ頭領ナリト
自稱シ神道ヲ破却シ自宗ヲ擴メント計リ當村ニ
入り神社ヲ燒毀ス當國ノ修驗僧一致シテ之ヲ攻
殺ス後ニ至リ具ノ靈崇リヲ爲シ村人ヲ苦ム因リ
テ之ヲ此ノ所ニ祭ル 一ノ貝坂ハ源賴光ガ撰津多
田ヨリ大江山ニ向テ時第一番ノ沓螺ヲ吹キ立テ
シ所ニテニノ貝三ノ貝亦同ジ一萬騎坂ハ賴光ヲ
送ル兵士ノ化コレ所ト云フ
九社祭式 氏神九社アリ每社神輿ヲ出ダシ一宮

ニ集ル近村ヨリ來集スルモノ多ク田舎ニテノ大
祭ナリ
城山三所ニアリ事歴詳ナラズ 日裏ヶ城ハ吉見
石見守ノ居所ト云フ
正法山石像寺 法道仙人ノ開基 中古曹洞宗ト
ナリ幸世村圓通寺末トナル 表門登リ口ノ石柱
ニ法道仙人開闢地ノ七字ヲ刻ス五町ヲ登リ山腹
平坦ノ地ナリ茲所ニ山門中門本堂禪堂庫裏アリ
除地十一町三段九畝末寺三個アリ往古真言宗ノ
時ニハ末寺七個アリタリト云フ京都所司代板倉
周防守ヨリノ寄附ニテ寺ニ建テ地ニ所有スルヲ
トナリタルトカヤ周防守ガ參内ノ時用ヒタル直

山崎志

衣ヲ以テ作レル古袈裟ヲ藏ス又薩摩國守ノ寄附
シタル二十五條袈裟アリ 藥師如來ハ領主五味
備前守ノ寄附 東鼻心越禪師ノ額アリ
續古今談ニ曰ハク昔撰津富原有翁庭前梅樹毎夜
放光翁控杖之作一揮手半藥師移丹波國石像寺
仙人ノ舊迹一町餘ノ奥ニアリ
大字 下竹田村 高千四百〇三石九斗二升改千
四百十六石 新祝目六石三斗 文久改千四百十
一石六斗六升三合 本村民家一戸 小字石原四
十戸 前木戸五十六戸 下友枯二十戸 寺内三
十戸 中村四十戸 下村八十戸 才田二十戸
寛政度改水野壹岐守知行一戸六石三斗 文久改

八石六斗六升三合 内藤因幡守知行千四百零三石
小宮明神社 前木戸ニアリ出雲大神ヲ祭ル西部
神道トシテ維新マデ本地ヲ大黒天トシ甲子ノ日
ニ之ヲ祭レリ施無畏山園藏寺ト云ヘリキ宗旨ト
シテハ真言宗トス
九日大明神ハ下村ニ祭ル社司ヲ塩見精進大夫ト
呼ブ社境二十間四方除地ナリキ
日附明神社ハ下村ニアリ一名ヲ桃草大明神ト呼
ブ境内除地ナリキ
古城ノ迹三個所 下村ノ長位ニアルモノ 其ノ
東方ニアルモノ 前木戸ニアルモノ是レナリ
前木戸ノ名ハ波多野家城寨ノ遺址カ高橋大和守

爲房居守シテ落城ニタリト云ヒ傳フ
郎址ニ所 赤井禰助ナルモノ、居所ト云フ 石
原ニアルモノ事跡不詳
安住山法樂寺 下村ニアリ曹洞宗 元和元年元
翁和尚ノ法系喜宗和尚ノ創造ニ係ル知識地トテ
建塔ノ僧ナラデハ住持タルトテ許サレザル法規
アリテ領主ノ保護厚カリシナリ
本尊蓮師如來 惠心僧都ノ作ト云フ 千手觀音
京都清水寺ノ本尊ト同作トテ名高シ
釣鐘 燈明田等別所豊後守ノ寄附アリ同人夫妻
ノ位牌ヲ安置ス 古地頭内藤家ノ位牌モアリ境
内廣クシテ除地ナリキ

録倉山清恩寺 法樂寺境内ニアリ麻呂子親王ノ
造建ニ係カル親王カ七佛建五ノ舉アルヤ之レヲ
以テ第一着手トシ他ノ六寺ハ丹後ニアリ 住時
此ノ所七堂アリテ伽藍ナリシトカヤ石燈籠アリ
貞和ノ年拜ヲ刻ス燈明田ニ石五斗ノ租米地ヲ附
ス事歴詳ナラス
本尊蓮師如來ハ親王カ丹後ヨリ凱旋ノ際ニ一寸
ハ今ノ尊像ヲ自刻シテ安置セラレタルモノト云
フ繪卷物ヲ藏ス親王遠征ノ參攷品タリトゾ今存
スルヤ否
大野唯四郎小傳 下竹田ノ石原ニ生マル慈心天
粟ニ成リ貧氓ニ同情ヲ寄スルコト

深厚ナリ明治十年所思ヲ實行セントスルモ資ニ乏シ而シテ其ノ志ヲ抑エ可ク不河北ノ塩見儀右衛門下竹田ノ小野木久造ノ同志ヲ得テ茲ニ初メテ教育ノ端緒ヲ開キ自宅ヲ以テ教場ニ當テ貧兒ヲ收容シ教養シ扶持シ看督シ扁シテ愛育堂トシ有志ヲ募リ數十百金ヲ集メ四十餘名ノ嬰兒ヲ十五年間一日ノ如ク誘導教育セシガ家資コレガ爲ニ傾盡シ募金復續カ不助手亦去ルノ不遇ニ陰會ニ之ニ加フルニ嬰兒ノ死七律比較上多クニ過グル等悲境ノ一ナラザルヲ以テ十數兒ヲ携フヘテ大阪ニ出テ更ニ廣ク江湖ノ慈人ニ哀訴スル等全力ヲ此ニ注ギタルモ意ノ如クナラザルヨリ諸兒ヲ

解放處分シ志ヲ轉シテ能登園總持寺ニ入り遂ニ寺房ニ客死セリ育英事業ノ先鞭者ニシテ斯ク沉淪ニ終ル一掬ノ涙ヲ其ノ名ニ濺カザルヲ得シヤ大裏ノ之助ハ福知山ノ市川儀右衛門ノ子ニシテ此ノ地ニ住ス文久三亥年但馬生野ノ暴動ニ與シタルカ病ヲ以テ歸臥シ其ノ係累ヲ免ル今茲ニ其ノ顛末ヲ畧記ス
同年十月十日長州藩士宿泊ノ先觸アリ翌十一日ヨリ浪士銀山界隈ニ化集徘徊ス同夜四ツ時今ノ子銀山役所ハ突入ス皆軍裝被力ニテ大新澤主水正勝走七事炊小路五郎磨殿ノ命ニ由リ當陣屋役所ノヲ暫時借用ストテ横領三十二日ニハ農兵ヲ募集

不此ノ時ニ於テ大裏千之助モ具ノ募ニ應ゼシナ
 リ同國隣邦ヨリ來集スルモノ大凡壹萬モアリタ
 リト云フ舉兵ノ主旨ハ尊王討幕ニアリ 總督ニ
 ハ平野次郎南八郎等勤王家ノ渠魁アリ以下皇軍
 艦衆農兵隊惣督領事物頭等ノ名ヲ掲ゲ大勢ヲ張
 リ軍糧ヲ徵發シ威ヲ揮ヒ銀山ヨリニ里計西南カ
 山口村妙見山ハ十七人出張シ出石藩防禦軍ニ抑
 留セラル、内大將ノ行衛不明ノ報アリテ崩壊セ
 レトスル所、百姓ノ反心スルモノアリ妙見山ハ
 向ケテ發銃ス南八郎ヲ始メ事ノ成ラザルヲ慨シ
 自殺スルモノ十二人 平野次郎ハ細堀村ニテ出
 石藩兵ニ捕ハル 次上郡黒井村 銀山人民ニシテ心ヲ
奉者

長州藩ニ通シ暴舉ニ與ヒタルモノ四人死刑ニ處
 セラレ事成ケ篠山藩柏原藩出軍ノ準備成リタル
 モ止ム

生郷村

生郷村 石生村本郷村ヲ合ハセテ生郷村ヲ成ス
 明昭初年石夏村北野村大崎村ヲ合ハセ石生村ト
 本郷村縮継村横田村市邊村ヲ合ハセ本郷村ト
 セシヲ今又此ノ二村ヲ併ハセテ生郷村トセリ
明昭四十
年記ス 石生三百五十六戸壹千七百三十一人本郷二
 百九十八戸壹千五百八十人四十石生ハ南ニ柏原
 町アリ北ニ船城村アリ西ニ本郷村ヲ控上郡中ノ
 最小村ナリキ本郷村ハ北成松村ニ續キ幸世村ニ
 接シ東ニ船城村アリ東南ニ石生新井ノ二村アリ
 西南ニ沼貫村アリ是亦郡中最小村ノ一ニ居ルニ
 村ノ合併シテ獨立スルハ要ヲ得タル所ト云フベシ
 大字 石夏村 高千七百二十五石三斗二分七分合

丹波志

丹波志

寛政改以後同額撰津三田藩領ナリキ
往古ヨリ名ダ、ル所トテ和名抄ニモ出テ訓伊曾
布トアリ讀方ヲ長ク引ケリ又石生トモ書キタル
ガ何時シカ石負トナリ故ノ如ク長音ニ呼ビタル
ヲ近世ニ至リ縮メテ呼ブトナレリ古時山陰
道ノ驛路トシテ山東山西ノ分岐點ニ在リ故ヲ以
テ柏原黒井間ノ小繁華地タリシナリ汽車ノ通ル
ルヤ山東山西ノ旅客此所ニ來會スルヲ以テ古時
ノ飲ヲ存シ加フルニ米穀薪炭木材ノ集散スルア
リテ銀行會社運送店旅人宿休惣郵雜貨舖ノ薈ヲ
連ネテ呼應羅羅スルアルニ至レリ之ヲ明治四十
年冬期ニ見聞スル所トス産物トレテハ米麥酒麴

ヲ數フベシ石生絞煙草入アリ紙篋ニシテ元祿様
ナリト云フ
小字領家ニ上ノ方ヲ地頭方ト呼ビ下ノ方ヲ領家
方ト呼ブ古ノ飲カト想ハバ坐ニ奥床シク思ハル
星角ト呼バレタル古驛ノ存否ヲ緝ネテ相遇ハズ
鎌障子山ニ即址アレド事歴判然タラズ 明智光
秀ノ陣址ハ小屋ノ壇ニアリテ山ノ半腹ナリ 横
田村界ニアルモノハ稻継長門守ノ陣所ニシテ豊
臣秀長モ亦陣ヲ据エタリト云フ秀吉ノ陣所札ト
テ此所ニ立テラレタル故極アリトテ寫文ヲ見タ
リ其ノ文ニ曰ハク

禁制
町 被 志

一 軍勢甲乙人等濫妨狼籍事
一 放火事

一對寺家門前輩非分之儀申掛間敷事
右條々堅令停止訖若於違犯之輩ハ忽破處嚴
科者也

天正十八年四月

水分川 南流スルモノハ本郷川ニ入リテ播磨ニ
落テ北流スルモノハ船城村ニ下リ天田郡ヲ経テ
丹後ノ由良港ニ注ケ故ニ名ヅク
小字池ノ川ニ於テ石棺ノ發見セラレタルハ前年ノ
丁ナリ冑片鎌刀鏡片鍍金ノ物件等ナリキ處々ニ
塚穴アリ事歴詳ナラズ

大字 本郷村 寛政度改高六百二十八石二斗五
升三合瓦家十三戸柏原藩領井上志摩守知行入交
リ文久度改六百八十八石三斗三升二合三勺内三
百二十八石三斗三升二合三勺柏原藩三百六十石
井上分 産物米麥

阿知規大明神 諏訪明神社ヲ模造シ移靈シタル
所升ハ古城主赤井ガ信濃國ヨリ移居シ来レル時
ニ築造シタルモノ具ノ本國ニ於ケル古式ヲ以テ
奥野ニ狩獵シテ麋鹿ヲ捉リ之ヲ祠頭ニ懸ケテ神
贄トスルノ例ヲ残セリ之ヲ鹿懸祭ト呼ブ西部神
道ナリキ

久昌山長法寺 禪宗 境内登十九間横十間ノ除

地アリシ
 孝子 善兵衛ナルモノ四十三歳ニ至リ少壯時代
 ニ於ケル孝道一日モ怠ナキヲ以テ寛政三年褒賞
 セラレタリキ
 通船場 問屋アリテ通船ノヲ取扱フ播磨ノ瀧
 野ニ下ルモノニシテ其ノ起原ト経歴ハ詳ナラガ
 レドモ口碑ニ由レバ天正ノ頃ヨリ開通セラレタ
 ルモノト云フ當時八艘ノ免状ナルヲ寛政年度ノ
 改正ニテ之ヲ倍加シ十六艘ノ株ヲ定メ之ヲ以テ
 永遠不換ノ法トセリ最初一年ノ運上即チ船税ガ
 銀一貫ナリシニ其ノ利益ノ増進スルヲ以テ漸次
 増税セラレニ倍トナリ安永五年ヨリ十年ニ至ル

ノ間ニ激增シテ一株ニ七貫七百匁ヲ課附スル
 トナセリ降リテ寛政初年六百五十二匁トナリ同
 申年ニ五貫六百匁トマテ減額ス然ル理由ハ米穀
 ノ地賣トナルモノ次第ニ多キヲ加ヘルノ致ス所
 ニテ通船場役人ヨリ嘆願ニ及ビ聞届ノアリタル
 ニ由ル
 通航港ハ此ノ地ヲ以テ起點トシ通航期間ハ毎年
 八月朔日ヨリ翌年七月晦日ニ至ルヲ以テ定期ト
 ス升ハ八十八夜ヨリ秋ノ彼岸ニ至ルノ間ハ川中
 ニ井堰ヲ設ケ田養水ニ引クヲ以テナリ納税ハ當
 初領主ハ納メタリシガ中古幕府ノ代官ハ納税ス
 ルトトナリ更ニ川運上ト唱ヘタリ此ノ地ヨリ播

京都府立総合資料館所蔵

磨ノ田高ニ至ルノ水上五里程船賃一艘ニ付米ニ
 付五合寛政度ノ改定ナリ此ノ川系ハ源ヲ大名草
 トシ佐治川トナリ九里ニシテ播州ノ水トナル加
 古川コレナリ海ニ至ル迄ヲ數フレバ十九里アリ
 此ノ川系ノ丹波ヲ益スルヤ大ナリ年々九千石ノ
 米ヲ下セバナリ若シコノ利路ナカラシニハ丹波
 ハ米穀ノ捌口太ク頗クレバナリ但荷船ナリ人舟
 ナラズ高砂マデモ下ルヲアリ九千石ノ米ヲ細分
 ストバ九ノ如シ
 一 二千石 龜山領ヨリ 一 一千石 柏原領ヨリ
 一 一千石 福知山領ヨリ 一 一千石 水野家分
 一 二百石 本多家分 一 一千石 安藤家分

一 一千石 柴田家分
 一 一千石 商物大小豆 一 四百石 小給諸方
 一 五百石 木綿 石高ニ見被ル
 夫婦橋 中ニ小嶋アリテ架橋ニツアリ頗ル奇景
 ナリシニ明治末年一條ノ長橋トナル
 大字 大崎村 高二百四石四斗四升六合七勺民
 家三十戸寛政改柏原藩領 石生村分ナリキ
 教王山錦院佛現寺 面宗 改宗ニテ本願寺ニ入
 ル境内堅ニ十間幅五間除地ナリキ
 腰懸石アリ蓮如上人ノ故蹟 唐畫一軸 赤井悪
 右衛門所用ノ木梳等アリ
 北野村高八十七石五斗三升七合一勺 柏原藩領 石生村分ナリキ

大字 横田村 元禄高八百二十三石 寛政改八
 百三十八石九斗二分内土無高三百十三石九斗二
 分 文久年度改同三田藩領ナリキ 箱川ノ一水能
 ク田ヲ養フ 本郷村分ナリキ
 一、宮大明神社 六十間四方除地アリテ別所豊後
 守ノ寄附田高五斗アリキ地頭ノ代リ目ニ此ノ五
 斗高ハ没收セラレタリトカヤ 熊野権現社 一
 断四方ノ除地アリシ
 大字 市邊村 高二百十三石一斗六分二合民家
 三十二戸寛政改 本多家知行所
 賀茂大明神社 長三十間幅二十間除地ナリキ
 岩溪山明光寺 一向宗 百坪除地ナリキ 古城

址アリ 經ノ岩 唐戸岩アリ 本郷村分ナリキ
 大字 箱継村 元禄高四百十三石寛政新檢四百
 三十石三斗民家六十戸 文久改二百七十四石一
 斗八分二合四勺内百六十三石五斗五分三合六勺
 水野知行百十石六斗二分八合八勺佐野知行 本
 郷分ナリキ
 城址 天正年間箱継壹岐守居守シ東軍ニ攻破セ
 ラレタリ其ノ土藏跡ヲ部地トシテ其ノ苗胤居住
 セリ壹岐守ハ風流ノ嗜好アリ横笛ノ妙手ナリキ
 其ノ戦死所ハ鵜ノ目橋トゾ
 小字 福本村 高三十二石七斗四分七合民家三
 十戸 寛政 杉浦知行 本郷村分ナリキ

京都府立総合資料館所蔵

牛王天権現社アリ 寺院許多アリ 古佛多シ
大同年間創設ノモノアリ 除地亦多カリキ
野瀬倉山 佛光寺 禪宗 藥師堂ノ本尊ハ行基
ノ作 毘沙門堂ノ本尊ハ聖德太子ノ作 地藏堂
ノ本尊ハ弘法ノ作ト云フ
小字 見田村 寛政改高四百五石 民家四十五戸
水野二百六十一石 四斗二升一合一勺 井上百四
十石 兩家知行文久改高四百一石 四斗三升一合一
勺 本郷分ナリキ
産物 見田堰ノ鯉色味共ニ佳良ニシテ 價格最貴
ク一寸一錢ノ語アリ 一錢ハ今ノ一厘錢ニシテ 鯉
錢ヲモ合算セル時ニ言ヘル所トス 今ヨリ見レバ

賦キノ至トヤ言ハム此ノ鯉ハ蘆田村方向ニ溯ル
此ノ川系ノモノ孰レモ骨軟ナリ
城址アリ 歴史明ナラズ
○片岡由藏字不詳 大正四年春ヨリ 同八年七月迄
伏見桃山御陵ノ掃除仕トナリ 居タルガ古来ノ道
徳名歌三十六集ヲ宣徳ニ道徳ヲ鼓吹セシト 神代
節ヲ作り 全國ヲ漫遊ス

京都府立総合資料館所蔵

前山村

前山村

前山村	大字	上鴨坂村	下鴨坂村	徳尾村
上竹田嶋村	上竹田村	上竹田村		
和名抄訓佐木也末				
四十年江四百二十一				
地八百十五町七段				
主要産物	米	麥	茶	繭
文久千八百八十九石九升三勺				
三勺				
水野壹岐守				
柘野八郎矢衛				
大字	上竹田村	元祿高千八十九石九斗三勺寛		
政改千三百石	舊稱前田山郷	小字段十市宿宮		
ノ下今中十方寺八日市片瀬倉崎ノ九個部	藤堂			

柘野西旗下士領宿ハ古時宿千軒トテ人家立テ
 連リタル所ナリト云フ余田谷ニアリ天保寛政
 ノ間人家三十個段二十八戸十市四十五戸今中十
 一戸北今中八戸片瀬五戸片瀬鳩織多四十五戸十
 方寺八戸宮ノ下十一戸倉崎十一戸八日市三十五戸
 若宮八幡宮 片瀬ニアリ三十間四方除地ナリシ
 若宮八幡宮 宿十市ノ産土神 除地
 奥婦大明神 十市鎮座 十市八日市ノ産土神
 除地一石四斗 本尊虚空藏菩薩 由良ノ領主別
 所豊後守ノ守本尊
 正一位加茂大明神 上竹田ニアリ境内神田除地
 ナリシ 普間院社僧之ヲ掌ル 白龍寺ノ曼陀羅

トテ明智光秀ノ寄附品アリ
 微笑山靈山寺 倉崎ニアリ曹洞宗 寛永七年ノ
 開創ニシテ無檀境内除地ナリシ
 隨雲山麟禪寺 上竹田ニアリ臨濟宗 境内及ビ
 神田アリ除地ナリシ
 將監屋敷 由緒詳ナラズ乾ノ方ニアリ堅三十五
 間幅ニ十間四方面ノ土塁アリシガ今ハ平田トナ
 レリ
 龜ヶ城址 片瀬ニアリ 形勢殿屋敷址トモ城山
 トモ云フモノ宿ニアリ 御魂屋ト云フ古蹟アリ
 今ハ愛宕小祠トナレリ 岩清水ノ池アリ放生川
 アリ

京都府立総合資料館所蔵

大字 徳ノ尾村 舊高四百六十七石七斗六升四合
 文久同高栢野八郎兵衛知行 民家百戸 藤堂
 山城守知行 寛政改 此ノ村ニ余田谷ノ中ニアリ余
 田谷ハ人迹不到ノ地ナリシヲ下村北側ヨリ開拓
 シ始メタルヲ程遠カラヌト云フ
 大原大明神 本社拜殿與舎釣鐘鳥居等アリテ金
 峰山龍泉寺ト云ヒ高野山末ニ属シテ兩部ナリキ
 神体トシタルハ一寸八分ノ黄金佛ノ牛ニ乘レル
 像ナリシ 除地長八町横四町アリキ
 正一位栢杉大明神 藏王権現ヲ本尊トシ余田三
 村ノ氏神ナリキ天名宗ニシテ正添山神宮寺ト云
 フ三十間四方ノ除地 聖権現社 大ノ小社ナド

アリキ 往昔吉見庄岡村ノ獵師一犬ヲ尋ハテ冬
 狩セシニ四方雪ニ埋モレタル中ニ積ラヌ所アル
 ヲ見テ不思議ノ感ニ打タレツ、アルニ其ノ犬急
 ニ頭尾ヲ振りソノ所ニ樹ツ而シテ呼バトモ得返
 ラバゴツ勤ノ様ナキモノカラ強テ牽キ返ル途ニ
 旅僧ニ遇フ其ノ僧問フ不思議ノ下ハ無カリシヤ
 ト獵師答ノルニ少許ノ地ニ雪ノ積ラザルト此ノ
 犬ノ立止マリテ容易ニ動カザリシト云フ僧懇
 ニ獵師ニ乞ヒ犬ヲシテ前行セシムルニ僧ヲ誘キ
 元ノ處ニ至ル借ソノ所ニ立テル杉ノ枝ヲ折リ呪
 シテ之ヲ樹テ神ヤ御座ヌト云フ其ノ杉遂ニ大株
 トナリ枝葉繁茂セリ聖権現ハ其ノ僧ヲ祭レルモ

京都府立総合資料館所蔵

ノニテ其像アリシ 本社ノ草創ハ正和五年ナリ
 余田左馬頭ノ佩刀ヲ藏ス左馬頭ハ余田谷開拓ノ
 時ニ居タル地頭ニシテ本社ノ額主ナリ
 瀑布 西ノ谷ニアリ高サ一丈五尺岩洞ニ間半深
 サ一間次第ニ下リ奥ニ不動佛ヲ安シ不
 平石 三又四方 折杉社ノ奥ニアリ 日滝 佛
 岩 猿岩アリ 金岩 大原社ヨリ右ニ入ル所
 姥ガ懐 大原社ヨリ別レ入り奥ニ行ク路ニアリ
 大字 上鴨坂村 舊高四百十七石四斗六升八合
 六斗 百戸ノ民家 寛政 柘尾知行所
 舊村名ヲ余田ト云フ寛政ニ改祖セズ 文久内 百十
 七石三斗九升六合一斗 水野壹岐守知行所 三

百石七升二合五斗 藤堂肥後守知行
 曼陀羅石 菰池 瀑布 等曼陀羅谷ニアリ菰池
 深クレテ丹後ノ切戸ニ通ジタリト云フ石ハ浮ビ
 ル如クニシテ上面ニ馬蹄ヲ印ス又小兒ノ脚痕モ
 アリ往時石エガ之ヲ割ラントセシニ小兒ノ啼キ
 聲ヲ石底ニ聞キ怕レテ其ノ手ヲ停メタリトカヤ
 六尺許モアラシ
 雄灘雄瀑 清水谷ノ奥ニアリ高サ一丈五尺ト六
 尺トノ二條ナリ
 薬師菴 二尺許ノ本尊ヲ安置ス春日ノ作ト云フ
 五像ナリ
 萬福山宗福寺 曹洞宗 古城主 余田左馬頭ノ

京都府立総合資料館所蔵

善提所ニテ位牌墳墓アリ境内除地
 大字 下鴨坂村 高百五十九石二斗一升五合寛
 政ノ改組ナシ 文久百六十石七斗二升六合七勺
 内百十四石四斗七升五合 藤堂肥後守知行 四
 十六石二斗五升一合七勺 水野彦岐守知行 余
 田ノ内ニシテ領主亦同ジカリキ
 正一位山ノ口大明神 長三十間横二十間除地
 大字 上竹田嶋村

佐治村 大字 佐治村 小倉村 澤野村 市原
 村 奥塩久村

此ノ村ノ地位ハ本郡ノ北方ニ在リテ更ニ北スレ
 ハ遠坂村トナリ西ニ神楽村アリ南ニ幸世村葛野
 村アリ東北面ニ於テ聊京都府天田郡ニ接ス村勢
 狹長ニシテ山谷ニ厯伏セラレ中央平地アリ耕ス
 可ク住ヌ可シ新町仲ノ町上町横町浦町上浦町東ノ
 角町下市場町ナドアリテ百貨高クベク以テ近村
 隣里ニ集散ス 主要産物ニ米麥穀類ヲ首トシ生
 絲貫綿檜物罐詰魚類烟草等アリ新カル片田舎ニ
 シテ小ジシマリトシ町風ヲ成セルハ其ノ源ヲ人
 エニアリトス八個ノ製絲場ハ盛シニ地方ノ男工

佐治村

丹波志

女手ヲ集合シ製出額鮮少ナラズ毎ニ海洋ニ向テ
 テ出荷ス罐詰モ亦同ジ烟草ハ柔味ヲ以テ歡迎セ
 ラル魚類ハ溪谷ニ産スルモノ櫻魚イダ等トス
 明治四十年ノ七百五十三人三千二百六十
 民有地七百三十九町五段 此ノ地價八萬七千五
 百九十八圓
 佐治警察署 郵便電信局 尋常高等小學校 株
 式柏原銀行支店 株式佐治銀行 株式氷上銀行
 合資白鶴會社 合資改良會社 ニツ桃合資會
 社 柏原區裁判所出張所等アリ電信線ノ縷コノ
 地ノ爲ノニニ篠山ヨリ早ク架セラレタルニテモ
 商工ノ發達ノ他村ニ魁タルヲ知ルニ足ル

佐治郷ノ名和名抄ニ見ユ今ノ佐治蘆田神樂遠坂
 ノ地ト云フ
 佐治驛ノ稱 延喜式ニ出ツ但馬國朝來郡ニ通カ
 ル山陰道ナリ
 古城アリ山城ニシテ兒嶋ナルモノ、居址トス山
 麓ニ西住寺アリテ一碑ヲ存ス刻シテ兒嶋伊豆守
 意程トアリ慶長十二戌甲四月五日トアリ
 寛政年間 民家三百餘戸高二百四十八石六斗九
 合内佐治村百七十八石四斗七合 牧助右衛門知
 行 佐治町七十一石五斗六分二合 柏原藩領
 佐治山崎 一名遠坂ハ但馬國朝來郡ニ達スル道
 程ナリ

京都府立総合資料館所蔵

大字 市原村 高小物成山役合百三十六石六斗
餘 文久改百十七石六斗七升五合 民家七十戸
文久 能勢市岡兩家知行
丹波富士 山根蟠屈ニ延辰又遠坂谷中佐治ニ渡
及ス

あるはくもあやま乃丹波富士 稲履

稲履ハ京都ノ産ニシテ仰ガレ宗通トナル著者
コレト交リ此ノ丹冊ヲ見ル

大字 小倉村 寛政高三百五石山役十二石小物
成四石五斗五升文久合三百二十一石五斗九升三
合 牧助右衛門知行
式内 佐治神社 祭神天鈿女命 大宮賣神ト呼

度長年間奉納ノ鰐口ニ神樂明神ノ字ヲ刻ス土俗
シケラ明神ト呼ブハ神樂ノ謂ナルベシ神樂村ノ部
ヲ参者セヨ
天照大神カ天ノ岩戸隠レテ成シ玉ヲテ諸神相集
テテ樂ヲ奏シ天鈿女命舞ヒ踊ル大神窟戸ヲ開キ
窺ヒ玉ヲ手カ雄命具ノ御手ヲ取り引キ出シ奉ル
猿田彦命ト鈿女命トハ天孫通々杵尊降臨ノ際御
先導トナル後世神祭ノ行列ノ先導ニ天狗ノ面ト
於多福ノ面トヲ加ヘルハ其ノ故事トカテ猿田彦
ハ鼻高ク鈿女ハ鼻低シ好夫婦ノ象アリ
正一位黒尾大明神 小倉佐治ノ産土神
藥王山法光寺 境内除地

京都府立総合資料館所蔵

高涼寺 嘉曆年間僧祖雄開基シ元和年間省我中
 興ニ真言律ノ敎院ナリ 一説ニ開基ハ遠溪ニシ
 テ中興ハ圓空ト云フ今存スルモノハ舊寺ノ奥院
 ナリ遠溪律師ハ足立光基ノ三男ニシテ十九歳ニ
 落飾ニ唐土ニ渡リ天目山ニ昇リ修習三年ニシテ
 歸朝シ此ノ寺ヲ創造ス天正ノ兵火ニ燒亡スルマ
 デ一千ノ末寺ヲ有セリトカヤ今僅ニ其ノ礎石ア
 ルノミ
 妙法寺 日蓮宗 唐繪ノ涅槃像ヲ藏ス南都興福
 寺傳來ノモノニシテ高涼寺ノ什寶タリシモノト
 云フ
 足立左衛門大夫邸地 足立彦助政基邸地アリ

青梨陣地 應仁當時京都ニ東陳西陳アリ此ノ國
 ニモ亦東方西方アリ京都ノ東陣方太田新左衛門
 來リテ陣ヲ此所ニ張リ佐治蘆田ヨリ太山アタリ
 マテヲ折從ヘリ而ルヲ西陣山名方ノ驕將垣屋越
 中守同平右衛門尉軍ヲ率ヒ河口和久アタリマテ
 乱入ス流言アリテ士氣揚カラス戰功ナキモノカ
 ラ垣屋モ己ムヲ得ズ但馬ニ歸リ東陣方ノ勢力
 範圍ニ入ル丁數年
 大字 奥塩久村 高二百五十九石四斗八升 水
 野壹岐守知行ナリシ

京都府立総合資料館所蔵

沼貫村

丹波志

沼貫村	大字	箱畑村	佐野村	谷村	新郷村
油利村	朝坂村	小野村	福田村		
沼貫ヲヌキト訓ム	和名抄ニ出テ	奴々岐神社			
ノアル地ナル故	ノ名アリト云ヒ	此ノ地ニアル			
ヲ以テ社名アルナリトモ云フ	其ノ由縁ヲ以テ	村			
名トス	七百十四戸	三千七百一人	明治四十年		
大字	箱畑村	高四百四十七石	三斗六升六合八勺		
内	四百四十九石	一斗二升一合	旗下士安藤出雲守		
知行	四十六石	六斗五合	同水野壹岐守	知行	二
百五十一石	六斗四升八勺	柏原領民家	五十三戸		
内	神々谷	神子	竈十五戸	東方	柏原ヲ距ル九二里
奴々岐神社	佐野ノ高見山ニアルヲ移シタルニ				

ノト云フ 欽明天皇ノ御宇ニ此ノ神ノ眞護ニ由
リ朝廢山ヲ切り抜キ沼ノ水ヲ落トシ人民安居シ
耕_レ地開ケタリヌ、キトハ沼貫ノ謂ニシテ其ノ神
ヲ尊崇シ沼池大明神トモ稱ヘ齋キ祀レルナリ
梅澤清助ノ妻ミツ明治四十二年
三十七年今ヨリ五十年前ニ清助
方ニ嫁ス性質温良其ノ舅ニ事フルヤ孝フノ夫ニ
事アルヤ負ソノ子太一郎ノ長スルニ及ビ清助ト
共ニ隱居シタルガ清助ガ壯年ノ頃産業ヲ蕩盡シ
タルヲ以テ餓古ノ資ニ村役場小使トナリテ細キ
烟ヲ立テミワハ老ク行ク身ヲ以テ米搗田植收穫
ナドニ雇ハレ夜業トシテ索ヲ絢ヒ草鞋ヲ造リ所
得ヲ以テ息子ノ助成ヲモ爲シ辛キニ家ヲ維持シ

夕リ然ルニ昨年一月以來清助ノ病勢助腹炎ニ變
症シ醫藥ノ資無ク且清助ガ渴ヲ訴ヘ果物ヲ求ム
ルヨリミツハ己ガ衣ヲ賣リ衾ヲ質シテ之ニ給シ
寐ヌルニ衾無ク饑エテ食無キモ之ヲ病夫ニ知ラ
シメズ聊ツ、其ノ疾患ノ瘡ルヲ見テ樂トシク抱
其ノ亘シキヲ得テ遂ニ全快シ又村役場ニ雇ハレ
古稀ノ齡ナルモ少壯者ヲ凌ゲノ舉動ヲ爲シ夫婦
ノ行爲人口ニ賞揚セラル、ヤ評判郡中ニ遍キモ
ノカラ郡長コレヲ縣知事ニ上申スルニ至レリ
大字 新鄉村 古檢高千四百石 元録千四百四
十一石八斗内四百石復田與十郎 四百石水野長
左衛門 六百四十一石八斗安藤出雲守等三家知

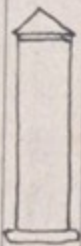
京都府立総合資料館所蔵

行孰レモ旗下士
 主要産物 米麥 到ル慶澤山アリ 栗桃柘葺ヲ
 産出ス 赤井桃園四町歩 稲田桃ヲ植ウ能ク熟
 ス花期美景トス
 白山権現山 八朔ニ參詣多シ瘡神ト稱スレドモ
 祈願スレバ萬病ニ効驗イヤクコナリトハ産寶ナ
 ル神ナル哉亘ナリ此ノ邊ニ醫者ラシキモノ、居
 ラザル一 一説ニ腰以下ノ萬病ニ對シ効驗アリト
 モ云フ瘡神ナルヲ以テ禮參リニ(竹ノ子)笠ヲ奉納シ
 タルガ今ハ畧セラ竹ノ皮トストカ元ハ竹ノ子笠
 ナリレトゾ竹ノ皮積ミテ堆ヲ爲ス是レハ賽者ノ
 献ズル所ニテ古來ノ習慣ト云フ

谷城山ノ頂上ハ播磨灘ヲ望ムベク秋晴ノ頃ヲ可
 トス 新郷黒田ノ間ニ高山寺道アリ立石ノ所ヨ
 リ標示ノ如ク登レバ高山寺ノ裏門ニ達ス南方ニ
 アルモノヲ赤井坂トス共ニ十八町ニシテ頂上ニ
 達ス其ノ本道ハ柳芝村ノ坂本ヨリ東スルモノ
 ハ黒坂ナリ山高サ五百四十五米突
 式内奴々伎神社 正一位ノ宮トシテ伊弉册尊ヲ
 奉祀スニ町四方ノ除地アリテ樂田モアリタリキ
 末社トシテ水神宮春日神ヲ奉安ス 社藏ニ緋織
 ノ鏡一具アリタリ古城主赤井氏ノ奉納ニ係カル
 古文書中伊知ノ宮ノ書ケルハ一ノ宮ヲ萬葉體ニシ
 タルナラン 社地ヨリ掘り出シタル壺アリ内ニ

京都府立総合資料館所蔵

法華經ノ寫片アリ壺長廿九寸形圖ノ如シ



岩高山遠林寺 高野山建立ノ際俊衆坊ナルモノ
来リテ此ノ寺ヲ建ラタリト云フ真言宗ニシテ十
七箇ノ堂宇社祠アリタリ頼朝が再建スル時俊衆
坊が来レルナリトモ云フ正月岩ト坐枝櫻ハ有名
ナリ

後野古址 赤井伊賀守弟和泉守伊賀守ノ子新五
郎ノ居城ナルが天正七年六月織田勢ノ先手ナル
明智方ニ敗ラレ伊賀ハ大手門ニ死シ之ヲ路傍ニ
埋ノラル和泉モ同所ニ死シ驚住寺ニ葬ラル新五
ハ其ノ之ク所ヲ知ラズ

大字 佐野村 古高三百三十石内土無高百八十
石 元録改三百四十四石ニ斗三合 民家六十五
戸 治水ノ地水損多カリシ 水野壹岐守本多淡
路守知行

高見古城 南北朝ノ時ニ仁木伊賀守足利氏奉年
ニ赤井新五郎居守ス天正七年黒井城ト共ニ陥落
ス 首踏瀧鏡岩寺ノ古跡アリ

日月山法林寺 麻呂子親王自作ノ薬師アリ 境
内除地ナリキ

大字 朝坂村 寛政度改高四百八十七石七斗民
家六十戸 柴田七九郎支配
風穴 大瀧ノ峰ニアリテ風ヲ嘔ク洞口ニ尺夫

婦橋ノ遺迹 土御村ノ部参看
 大堰 幅四間高一丈三尺 柏原銀ノ時ニ築造セ
 ルモノ
 大歳大明神社 若宮 稻荷森 共ニ除地ナリシ
 辨財天社同
 日燈山量光寺 祥雲山瑞林寺 薬師堂 又同
 大字 谷村 高八百三十石外ニ見取高アリテ年
 々檢見ノ結果増減不率ナルヲ以テ代官ト人民ト
 ノ間ニ協議成リ八百五十九石九斗八升四合トナ
 ル寛政度改民家百戸旗下士安藤内藏助知行
 古城 和泉丸 赤井伊賀守ノ居所
 大字 小野村 高四百六十五石ニ斗六升六合

民家七十戸 柴田七九郎支配所 天満宮 除地
 二設歩 薬師堂 本尊行基作ト云フ
 大字 福田村 分村ノ下和田村ノ部参看ス
 大字 油利村



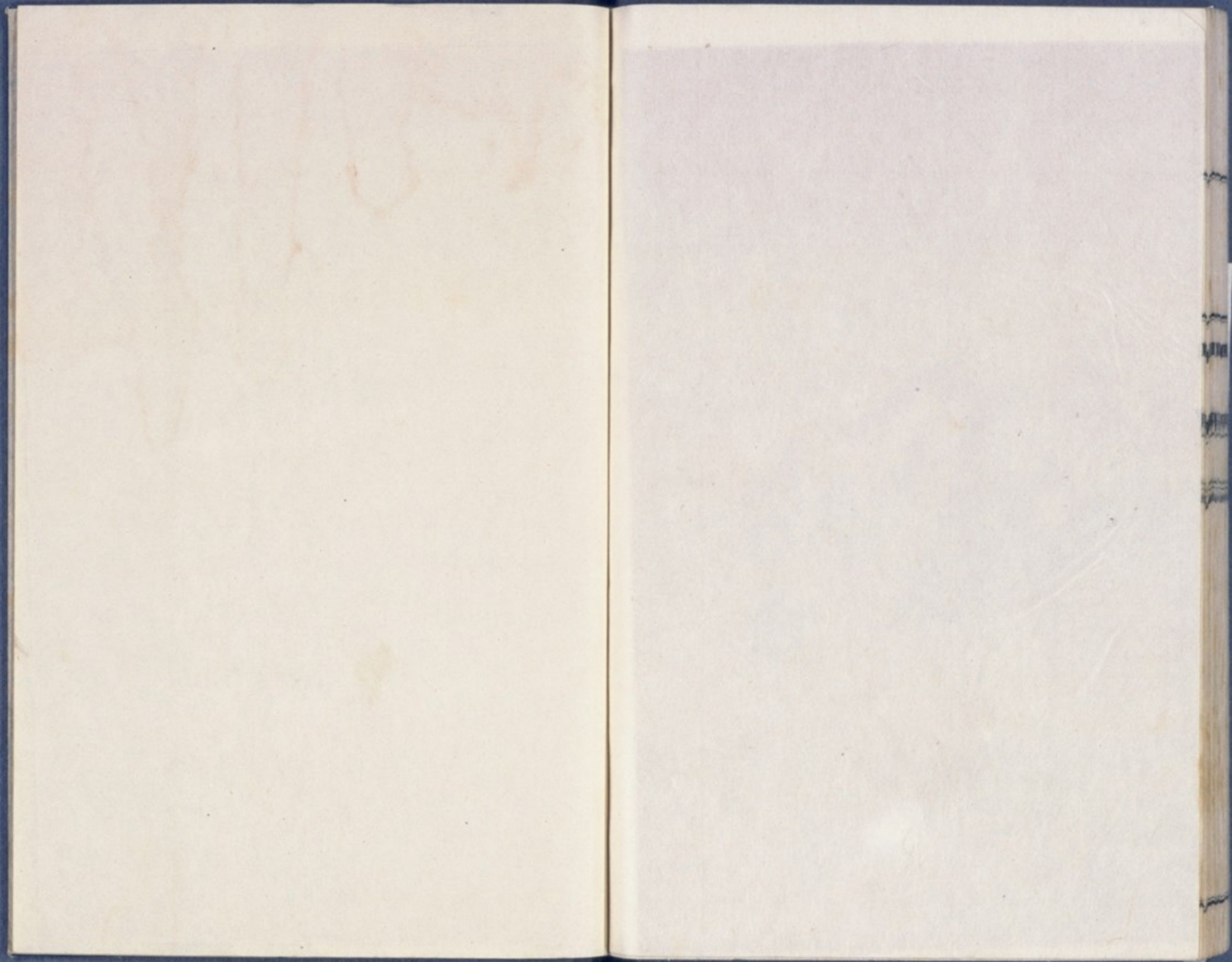
雨
景
一
筆



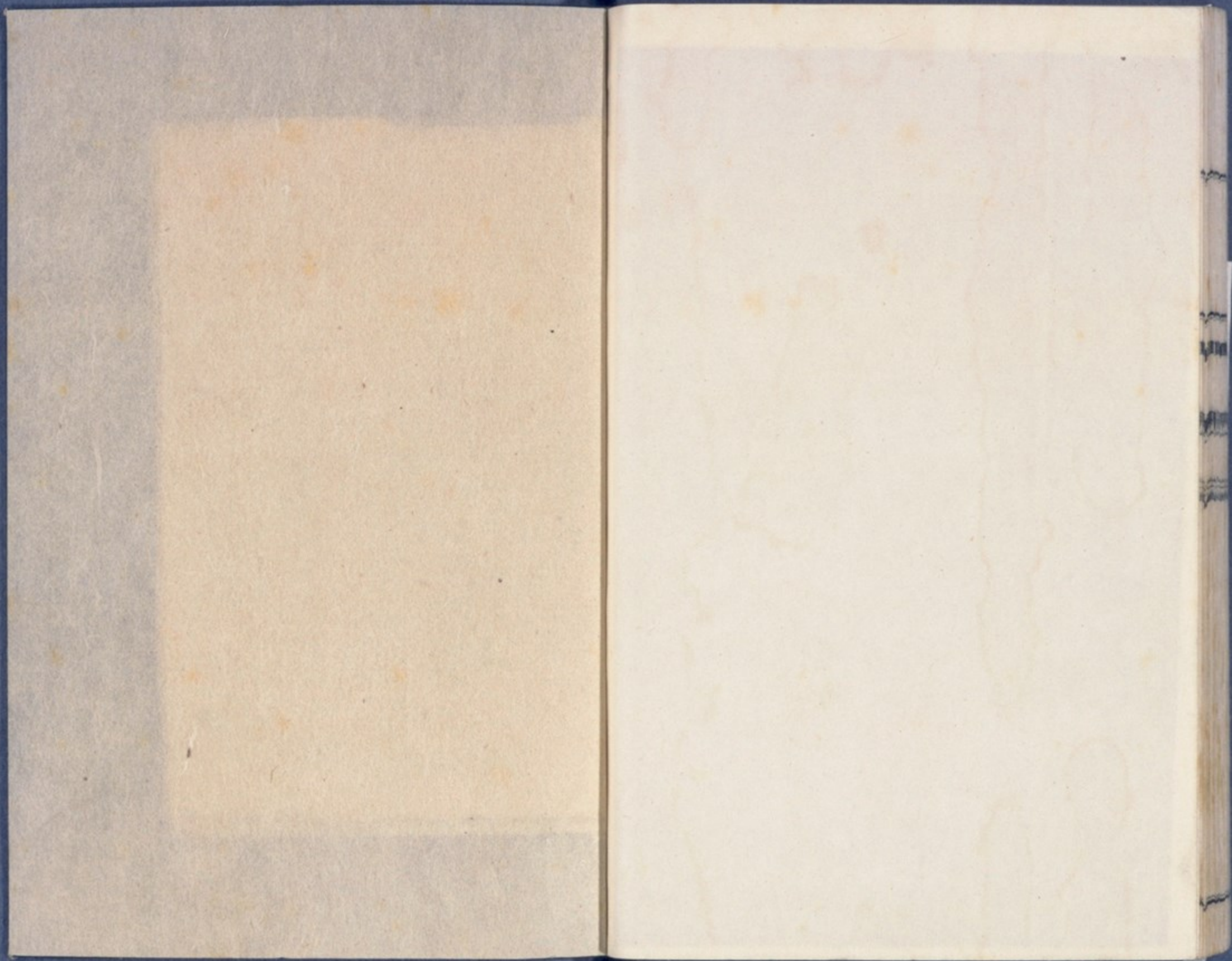
先秀軍
兩中
敗退

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

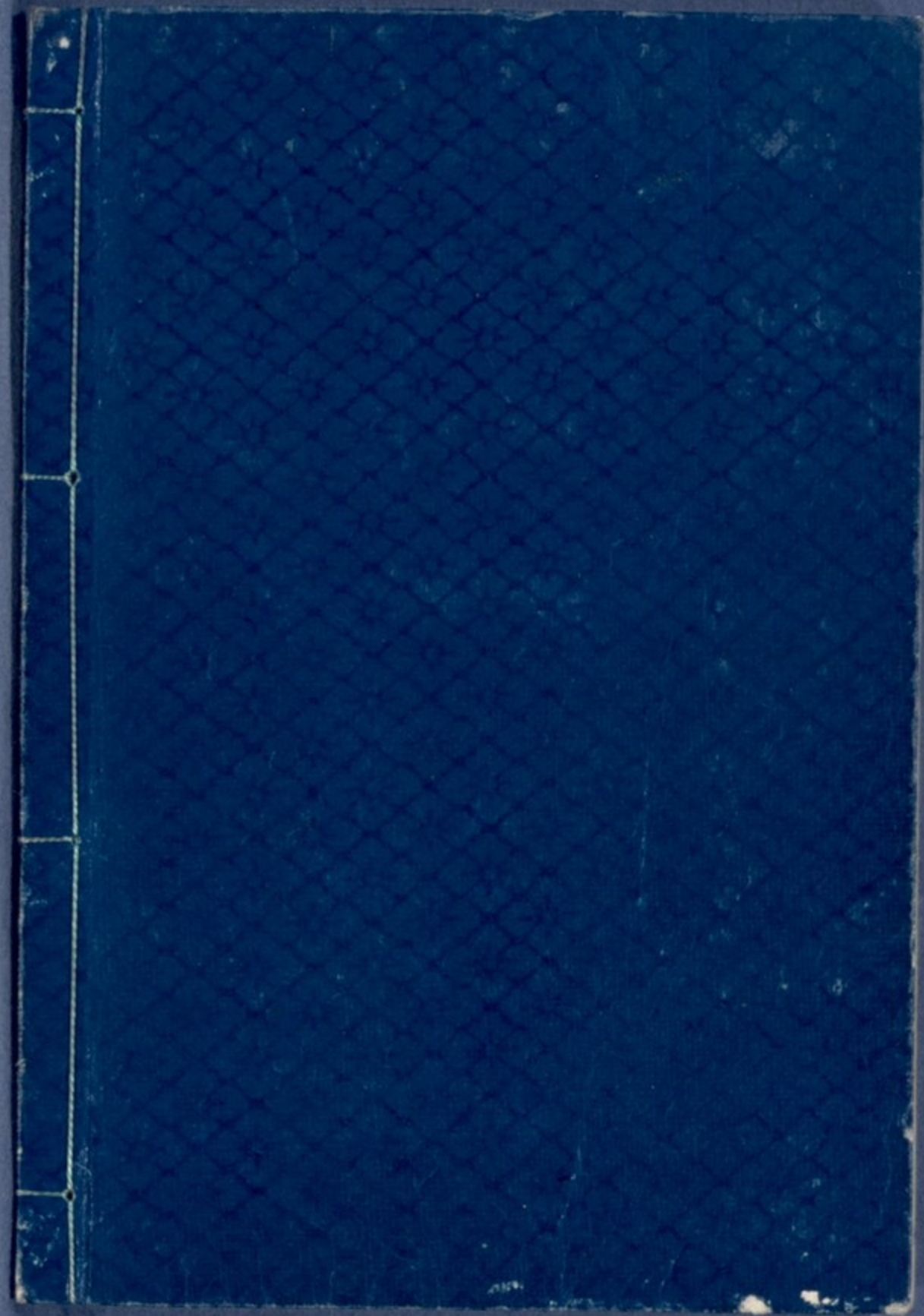
京都府立総合資料館所蔵



京都府立総合資料館所蔵



京都府立総合資料館所蔵



京都府立総合資料館所蔵